

ネット利用の低年齢化対策サブワーキング 2015年度 報告書

2016年3月31日

安心ネットづくり促進協議会
調査企画作業部会
ネット利用の低年齢化対策サブワーキング

内 容

はじめに	-3-
1. 活動方針と体制	-4-
1-1. ネット利用の低年齢化対策サブワーキング体制	
1-2. 調査対象	
1-3. アンケート内容	
1-4. アンケート形式	
1-5. アンケート協力者の一覧	
2. 調査結果	- 5-
2-1. 保護者のインターネット利用について	
2-2. 子どものインターネット利用について	
2-3. 子どものインターネット利用についての保護者意識	
3. 活動総括	-28-
3-1. 啓発活動への連携	
3-2. 来期に向けた課題	
4. 今後の活動方針	-30-

<APPENDIX>

「低年齢層の子ども／保護者のインターネット利用実態、意識 アンケート」フォーム

はじめに

スマートフォンやタブレット端末等に、幼児や小学校低学年の児童が接する機会が増えており、学習教材として活用されるケースの他、親の端末を借りて動画視聴やゲーム等を長時間行う子供もいる。

このような時事課題を受け、幼児・児童および保護者のネット利用の実態を把握し、低年齢層に向けての啓発手法・テーマ等を検討するために安心ネットづくり促進協議会（以下：安心協）では調査企画作業部会の配下に「ネット利用の低年齢化対策サブワーキング」を設置し、低年齢層の幼児、児童のネット利用実態把握、低年齢層の保護者のネット利用実態把握のためのアンケートを実施、とりまとめを行った。

今回の調査は、単なる結果の報告にとどまらず、青少年や保護者のインターネット・リテラシー向上に取り組む当協議会及び会員企業・団体等の各地での普及啓発活動や、安心安全サービスの提供・改善につなげていくことを目指している。

1. 本年度の活動方針と体制

本年度は低年齢層のネット利用環境整備を推進する関係団体や事業者等が個々の活動にとどまらず、情報を共有し一体となって効率的・効果的に活動を進めるための方策を検討するための手法・テーマ等の提言につなげることを目的として、低年齢層の幼児、児童のネット利用実態と、その保護者の意識実態把握のための調査を行った。

1-1. ネット利用の低年齢化対策サブワーキング体制

以下の体制でサブワーキングの運営を行った。

リーダー： 桑崎 剛（熊本大学 講師）

サブリーダー： 七海 陽（相模女子大学 子ども教育学科 准教授）

参画メンバー： 安心協：調査研究、普及啓発関係者、関係府省庁 約30名

活動期間 2015年10月～2016年2月（サブワーキング開催4回）

1-2. 調査対象

調査対象としては既存の青少年の利用実態調査レポートが小学校中学年以上を対象とするものが多かったことから以下をターゲットに設定した。

- － 未就学児(0歳～6歳)およびその保護者
- － 小学生低学年(1年～3年)およびその保護者

調査研究にあたっては学術研究・医療分野(ブルーライトの影響、睡眠への影響リスクなど)、既に安心協以外の検討主体で調査・対策策定をしている分野については対象外とした。

1-3. アンケート内容

保護者に回答いただくことを前提とし、サブワーキングにて全33問のアンケート項目を作成。

- － 回答者属性:4問
- － 保護者のインターネット利用について:7問
- － 回答対象子どもの属性とインターネット利用について:15問
- － 子どものインターネット利用についての保護者の意識:7問

1-4. アンケート形式

- － 基本選択式とし、選択肢に(その他)があるものについては自由記述
- － アンケート用紙を配布し、記入(無記名)後に郵送、FAX、データ(WordまたはPDF)で回収

1-5. アンケート協力者の一覧

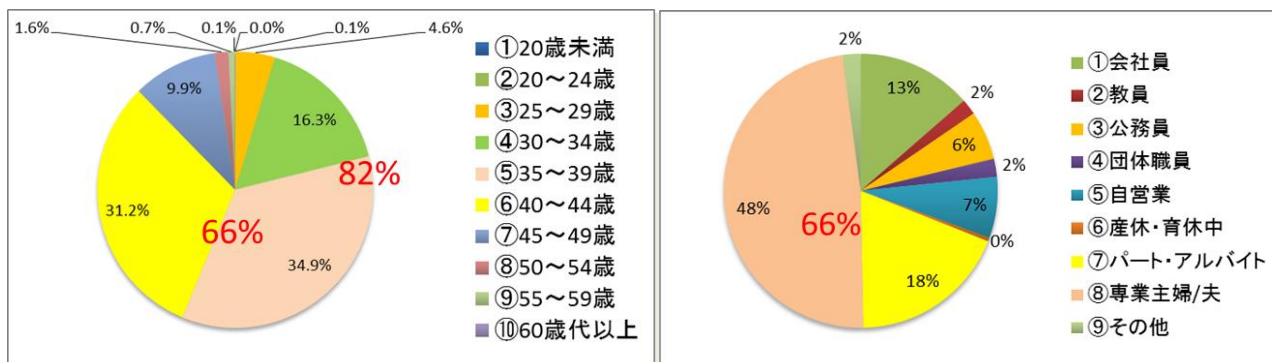
2015年12月7日～2016年1月25日 アンケート回答者数 1,184名

No	都道府県	団体・事業者名	対象	協力人数
1	全国	公益社団法人日本PTA全国協議会	小学校1～3年保護者	261
2	全国	全国国公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会	幼稚園・こども園保護者	897
3	静岡県	浜松子どもとメディアリテラシー研究所	4～10歳保護者	14
4	神奈川県	特定非営利活動法人イーランチ	4～6歳保育所保護者	12

2. アンケート調査結果

回答いただいた保護者 1,184 名の性別は男性 21%、女性 78% (未回答 1%)、年代は 30～44 歳が 82.7%で、職業は専業主婦/夫 (48%)、ついでパート・アルバイト (18%) の方が多かった。

<回答者の年代と職業>



<調査結果サマリー>

- ・幼児保護者の 64%、小学校低学年保護者の 72%がなんらかの方法で子どもにインターネットを使わせていると回答。
 - ・幼児の 38%がスマートフォンでインターネットを利用している。
 - ・幼児から小学生になるとスマートフォンの利用率が若干下がり、タブレットやパソコン、ゲーム機を使ったインターネット利用が増えており、利用機器の多様化傾向がみられる。
 - ・幼児期はゲーム、動画視聴 (youtube 等) や、写真を観る、知育の用途が多いが、小学生になるとメール、メッセージ、検索などの利用が増加している。
 - ・幼児期は家族と一緒にいるとき、外出時の待ち時間、保護者が手が離せないときの利用が多いが、小学生になると一人のとき、友達と一緒にいるとき、留守番のときが増加している。
 - ・子どもがインターネットを使ううえでの安心・安全対策については、幼児から小学生になり使い方／使わせ方が変化するに伴い、対策の実施状況にも変化がみられる。(フィルタリング、セキュリティ対策、ペアレンタルコントロール等)
 - ・ただし保護者と兼用端末のフィルタリング設定率、端末機能制限、課金対策、接続制限対策は低い傾向にある。
 - ・保護者が子どもにインターネットを利用させるうえで不安に思っていることは幼児の保護者は身体・発達への影響への不安が高く、小学生になると学習・成績への影響が高くなる傾向がある。
 - ・保護者自身がインターネットの適切利用に自信がない場合、子どもへのネット利用の教育もあまりできていないとの回答が多い傾向にある。
 - ・インターネットを安心安全に使うためのモラル・ルール・対策を学んだ機会については、幼児保護者では学外研修で学ぶ機会は少なく、学んだ経験がない保護者も多い傾向にあり、機会があれば相談機関・啓発セミナーを利用したいとの回答が多かった。
- なかでも外部専門家に相談したい、教わりたいニーズが高い傾向にあった。

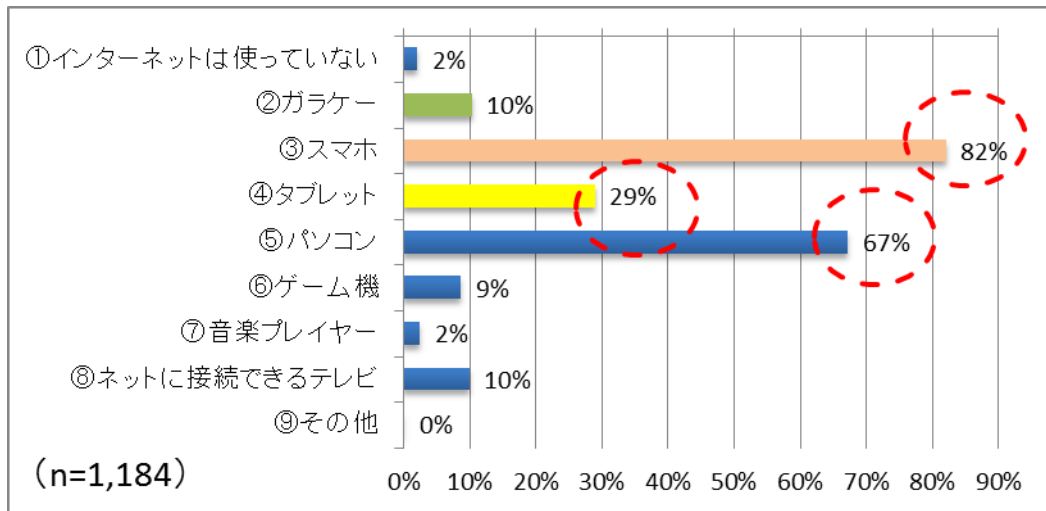
2-1. 保護者のインターネット利用について

図表2-1-1では、保護者の現在のインターネット利用状況・利用機器別(仕事での利用は除く)を示している。保護者 1,184 名中 24 名(2%)は「インターネットは使っていない」と回答しているため、以降の設問は何らかの機器でネットを利用している保護者 1160 名(98%)を集計対象としている。

インターネット利用機器はスマホ(82%)が1番多く、ついでパソコン(67%)、タブレット(29%)となっている。

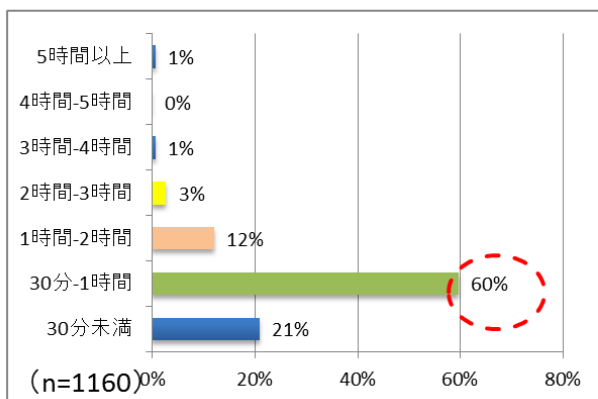
図表2-1-2より、6割の保護者が1日の利用時間は30分～1時間と回答している。

図表2-1-1. 現在、ご自身のインターネット利用についてどのような機器を使っていますか。(複数回答)

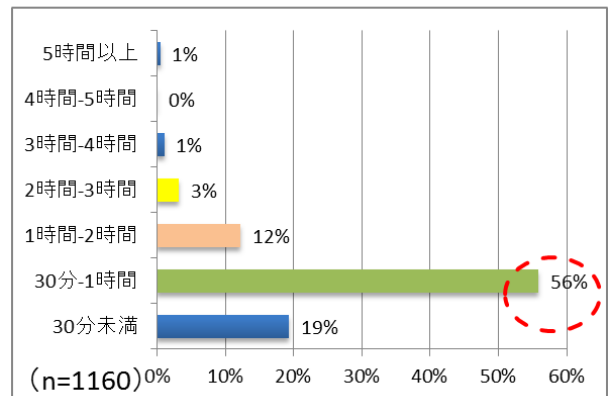


図表2-1-2. ご自身のインターネットの1日の利用時間についてお答えください。

平日



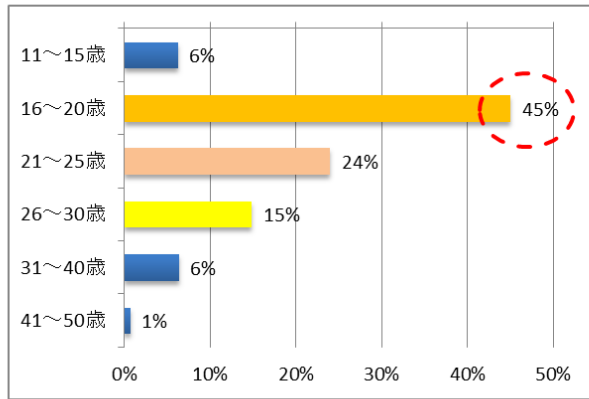
休日



図表2-1-3は、保護者のインターネットの利用開始時期を示しているが、幼児保護者の方が中高生からの利用が多い傾向がみられた。(利用機器、利用時間については幼児と小学校保護者で顕著な差はなし)
これは、保護者についても年代が低いほど早くからネット利用を行っている傾向があると想定される。

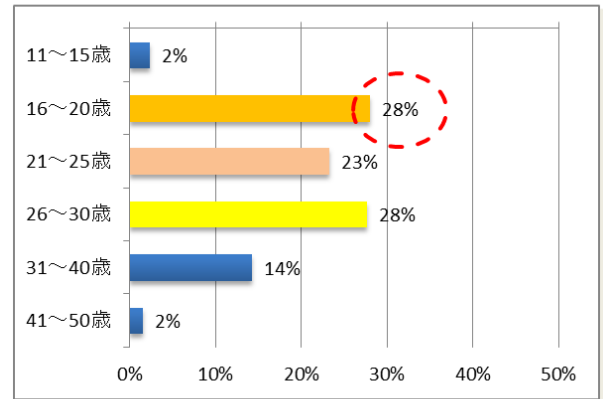
図表2-1-3. ご自身はインターネットをいつ頃から使っていますか。

【幼児保護者】



(n=883)

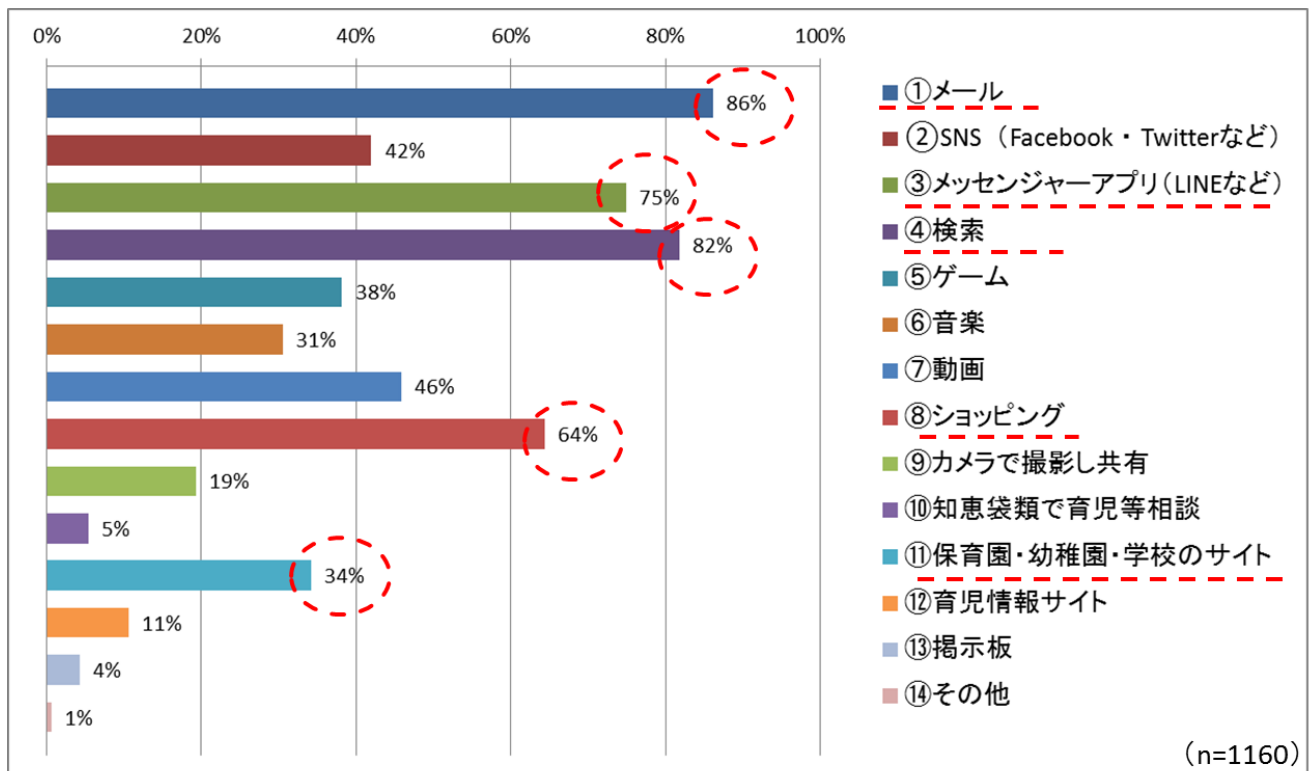
【小学校保護者】



(n=253)

図表2-1-4は保護者のインターネットの利用内容を示しており、メール(86%)・メッセージアプリ(75%)、検索(82%)、ショッピング(64%)が多い結果であった。(幼児と小学校保護者で有意の差は無し)
また保育園・幼稚園・学校のサイトも34%が利用していた。

図表2-1-4. ご自身がインターネットで利用しているものをお答えください。(複数回答)

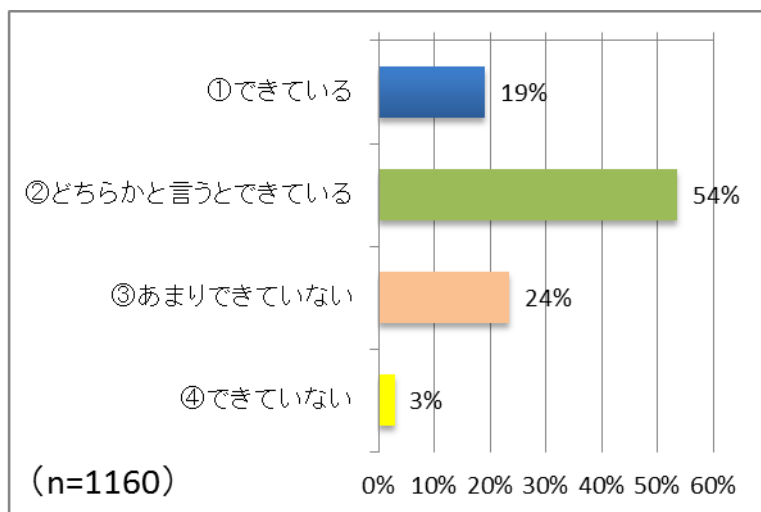


(n=1160)

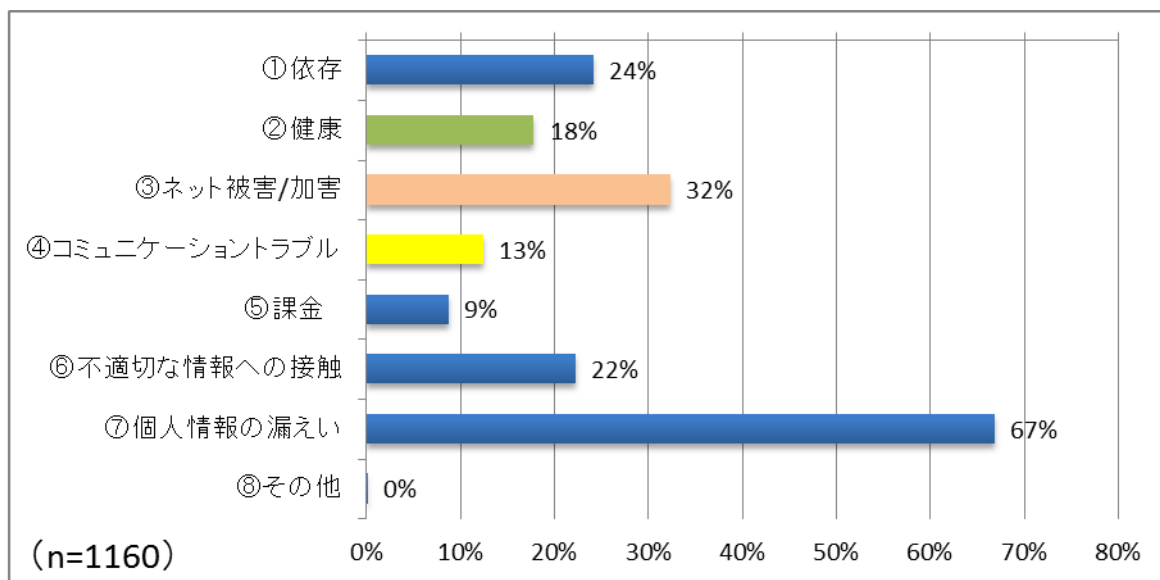
図表2-1-5より、保護者自身が利用時間や使い方(ルール・マナー)などインターネットを適切に利用できているかという問いに対しては7割の回答者が「できている」「どちらかと言うとできている」との回答であった。

図表2-1-6より、インターネットを使ううえでの不安・悩みについては、依存・健康・コミュニケーショントラブル・課金など自身のモラル・ルール・マナーによってコントロールできる項目についてはそう高くないのに対し、個人情報の漏えいが他の項目よりも高い(67%)傾向となっている。これはプライバシー保護やセキュリティ対策方法の知識が不足していることからくる不安とも想定されるため、今後の啓発活動の指針となりうるデータと言える。

図表2-1-5. ご自身は利用時間や使い方(ルール・マナー)などインターネットを適切に利用できていますか。



図表2-1-6. ご自身がインターネットを使ううえでの不安・悩みはありますか。(複数回答)



図表2-1-7より、インターネットを安心安全に使うためのモラル・ルール・対策を学んだ機会については幼児保護者については学外研修で学ぶ機会は少なく、学んだ経験がない方も多い(24%)傾向にある。

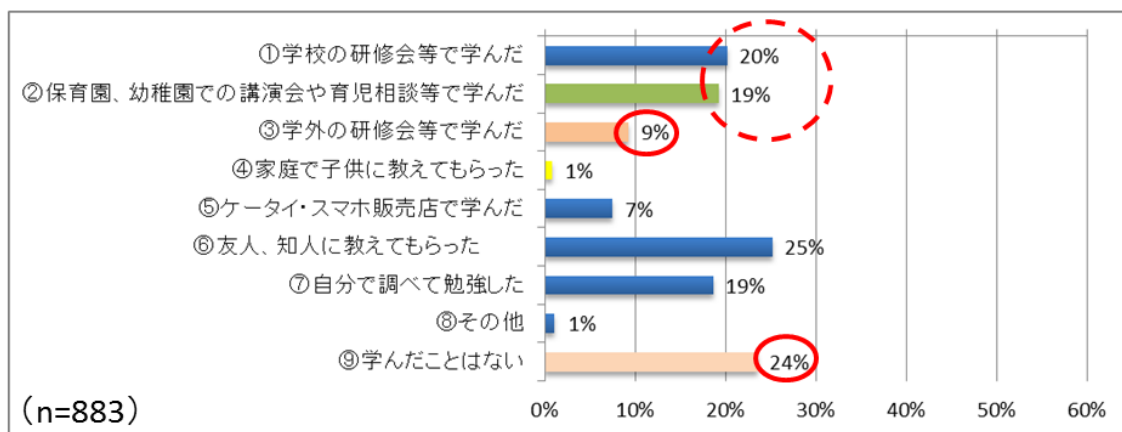
図表2-1-8は、保護者自身が利用時間や使い方(ルール・マナー)などインターネットを適切に利用できているかという問いと、自身のモラル・ルール・対策を学んだ機会の関係を示したものである。

インターネットを適切利用できている、どちらかというときていと回答した保護者は学内、学外の研修の他、「自分で調べて学んでいる」場合も多い(17%)傾向にある。

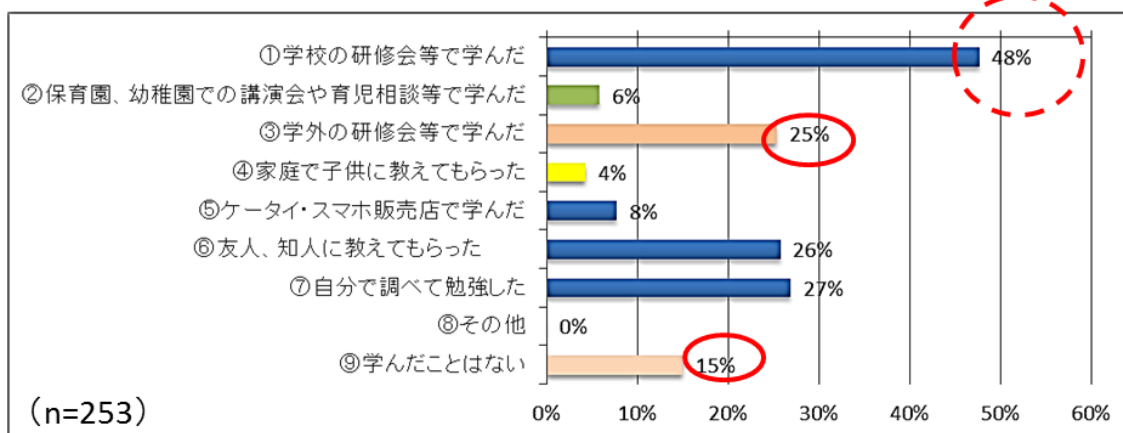
適切利用できていないと回答した保護者は「学んだことがない」が多い(41%)傾向がある。

図表2-1-7. ご自身がインターネットを安心安全に使うためのモラル・ルール・対策を学んだ機会についてお答えください。(複数回答)

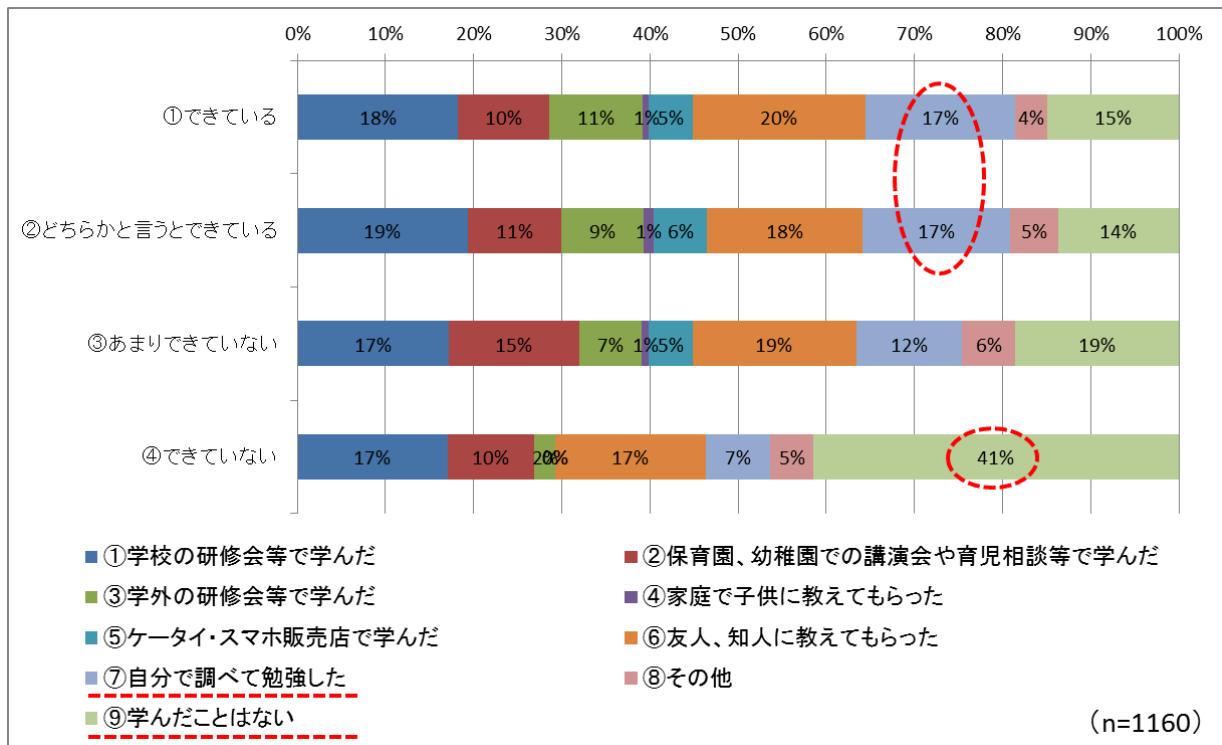
【幼児保護者】



【小学校保護者】



図表2-1-8. 「保護者のインターネット適切利用の自信」と「自身の学習機会」の関係

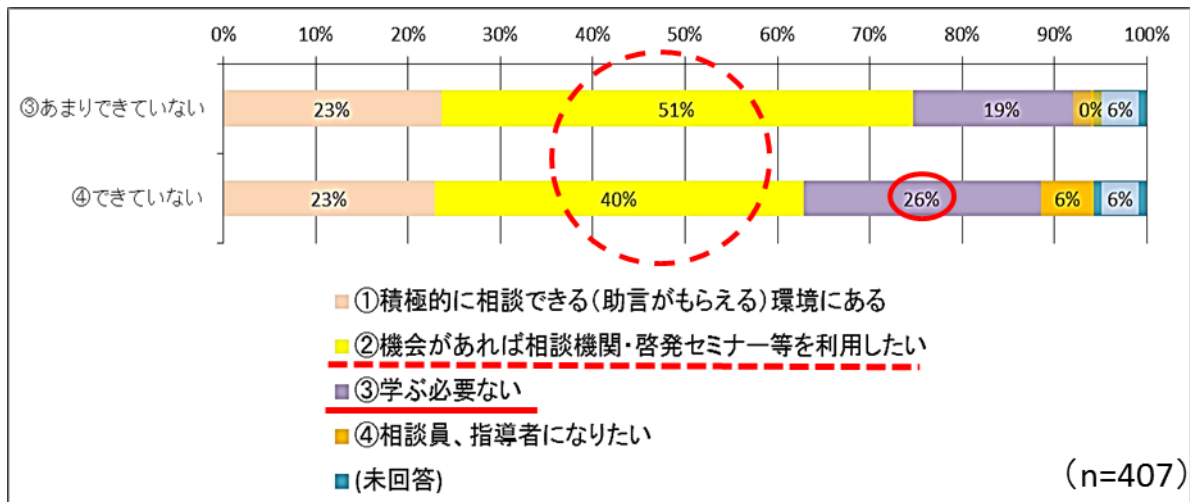


図表2-1-9、図表2-1-10は保護者自身がインターネットをあまり適切に利用できていない、と回答した場合の「相談、助言、啓発」にかかる要望を示している。

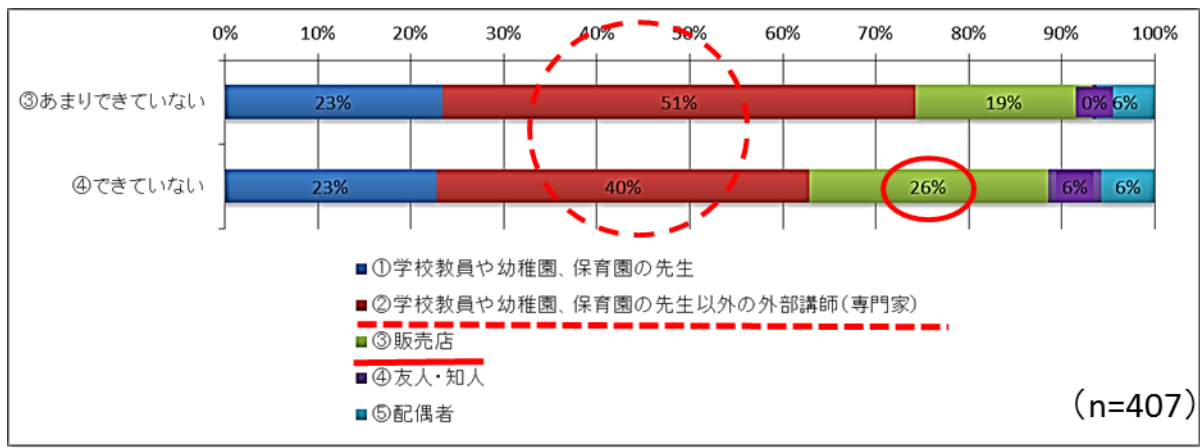
4割以上が「機会があれば相談機関・啓発セミナー等を利用したい」という要望がある一方で、自身が適切利用できていないと回答した保護者は「学ぶ必要もない」も多い(26%)傾向にある。

相談・助言・啓発の要望先としては4割以上が外部の講師や販売店など専門知識を持つ方に相談したい・教わりたいが多い傾向にある。

図表2-1-9. 「保護者のインターネット適切利用自信」と「相談、助言、啓発要望」の関係



図表2-1-10. 「保護者のインターネット適切利用自信」と「相談したい・教わりたい人」の関係

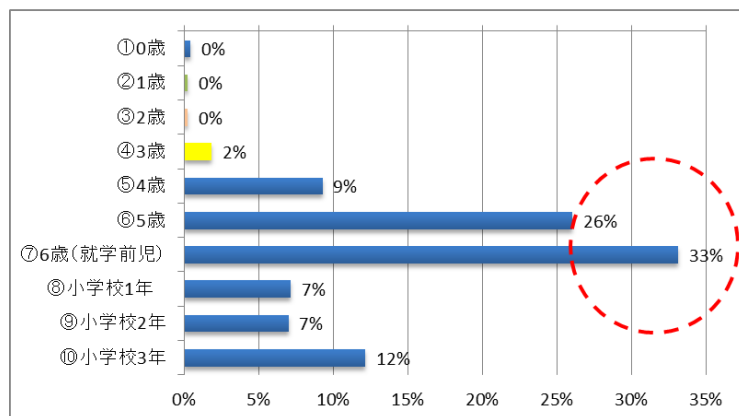


2-2. 子どものインターネット利用について

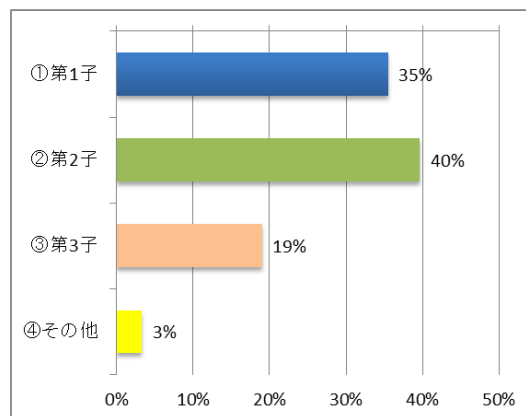
本調査では「全国国公立幼稚園・こども園 PTA 連絡協議会」経由での回答者が多かったため、子どもの年齢は5～6歳が多くなっている。性別は男子50%、女子49%(未回答1%)、出生順位は第2子、第1子、第3子の順に多かった。

図表2-2-1. 回答者の子どもの属性

◆ 子どもの年齢



◆ 出生順位



その他はほぼ第4子

図表2-2-2では、幼児、小学生の現在のインターネット利用状況・利用機器別を示している。

幼児の38%がスマートフォンでインターネットを利用している。

(参考:内閣府2015年2月調査報告では小学生[満10歳以上]のスマホ利用は9%)

幼児から小学生になるとスマホの利用率が若干下がり(29%)、タブレットやパソコン、ゲーム機を使ったインターネット利用が増えており、利用機器の多様化傾向がみられる。

「子どもはインターネットは使っていない/使わせていない」と回答している保護者は幼児で36%、小学校で28%となっているため、以降設問は何らかの機器でネットを利用している子どもを集計対象としている

図表2-2-3より、子どもの1日のインターネット利用は4割が30分～1時間の回答となっている。

また、利用は不定期の回答も2割程度見られた。(子ども年齢による利用時間の差は特に無し)

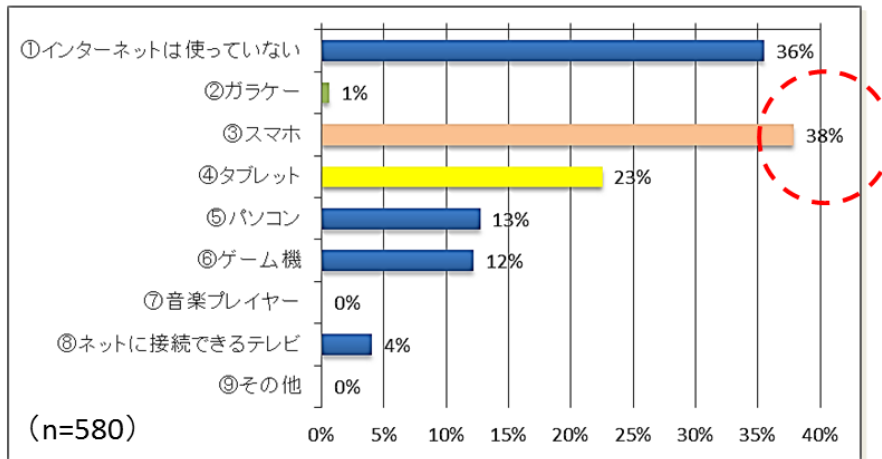
図表2-2-4は、子どものインターネットの利用開始時期を示しているが、5歳(23%)、4歳(22%)、ついで3歳(17%)が多かった。

図表2-2-5は、子どもが現在最も使っているインターネット機器の所有者を示している。

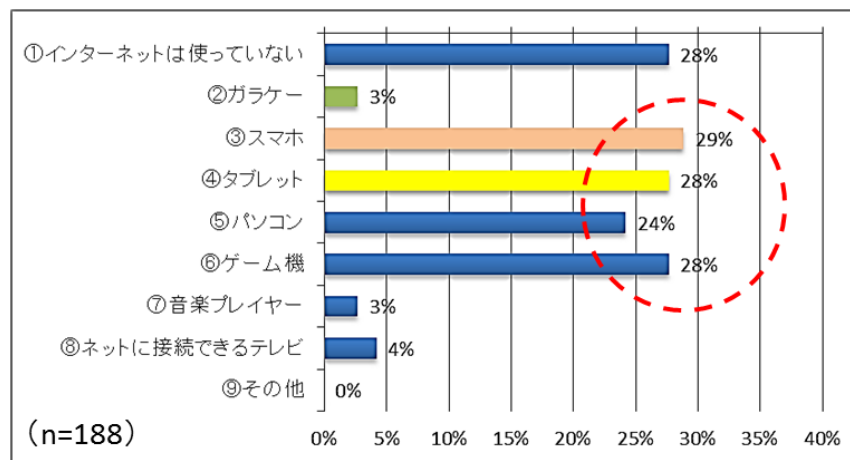
幼児の回答ではほとんどが親と兼用で利用しているが、小学生になると専用機器が増えてくる傾向にある。

図表2-2-2. お子様のインターネット利用についてどのような機器を使って/使わせていますか。(複数回答)

【幼児】

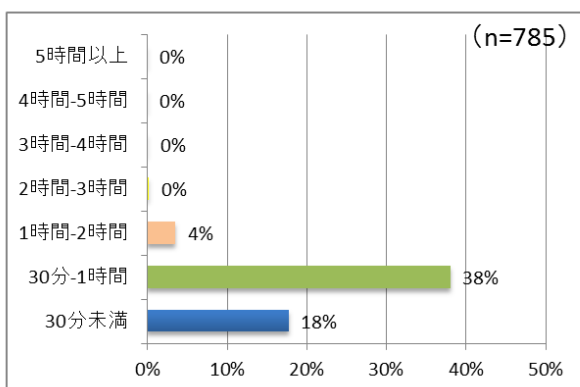


【小学生】



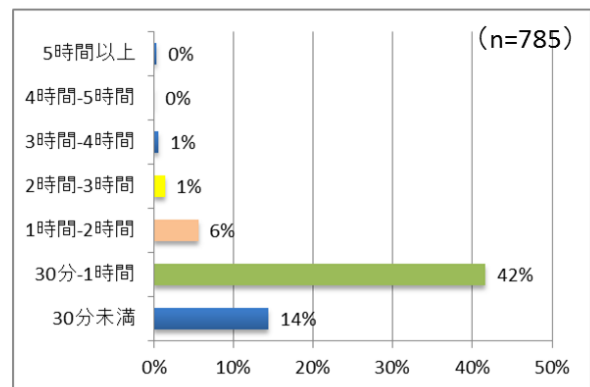
図表2-2-3. お子様はインターネットをどのくらいの時間使っていますか。

平日

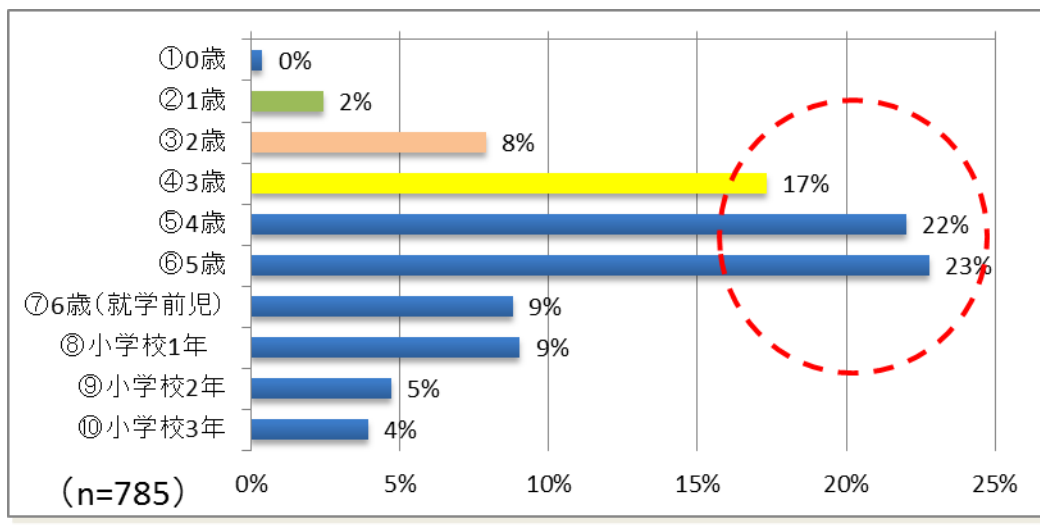


休日

その他「不定期」が21%

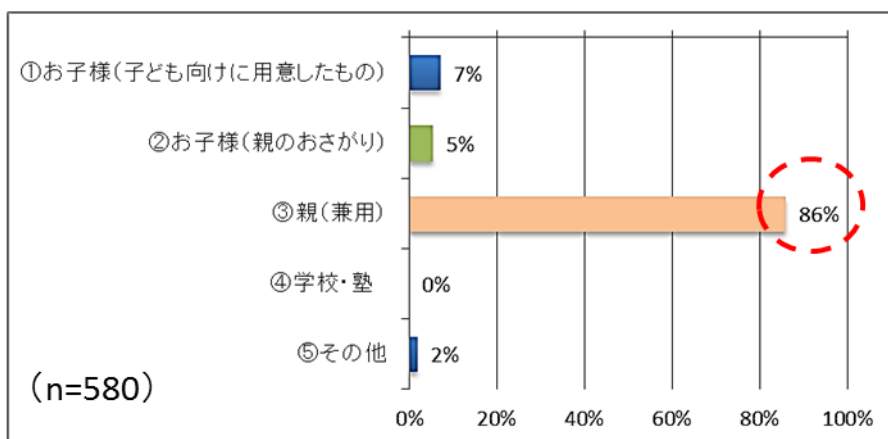


図表2-2-4. お子様はインターネットをいつ頃から使っていますか。

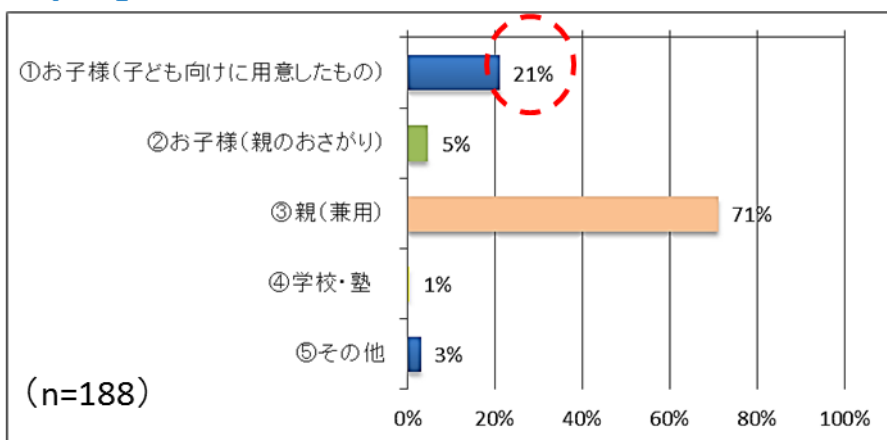


図表2-2-5. お子様は現在最も使っているインターネット機器の所有者はどなたですか。

【幼児】



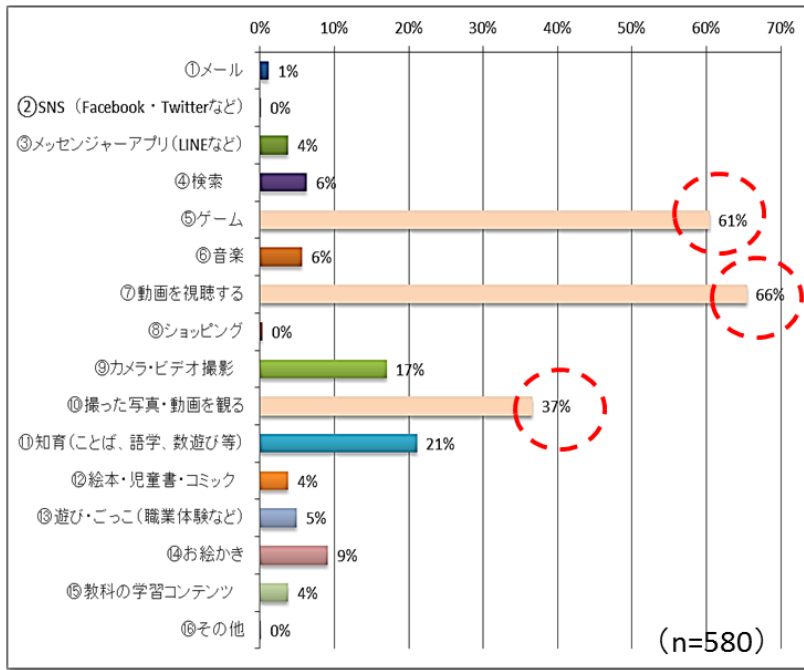
【小学生】



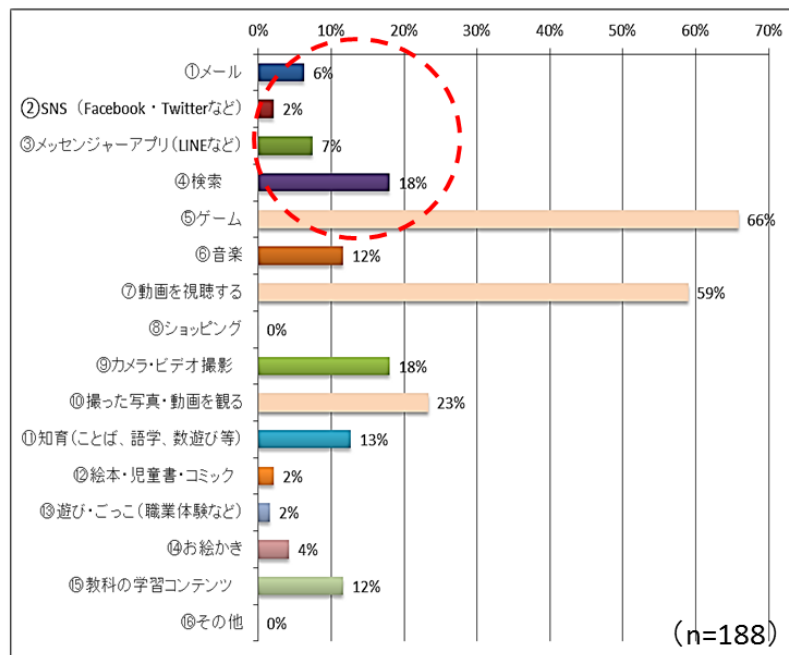
図表2-2-6は子どものインターネットの利用内容を示している。
 幼児は⑤ゲーム、⑦動画視聴(youtube等)や、⑩撮った写真や動画を観る、⑪知育の用途が多いが、小学生になると①メール、③メッセージ、④検索などが増えてきている。

図表2-2-6. お子様は現在どのようなアプリケーションやコンテンツを使っていますか。(いくつでも)

【幼児】



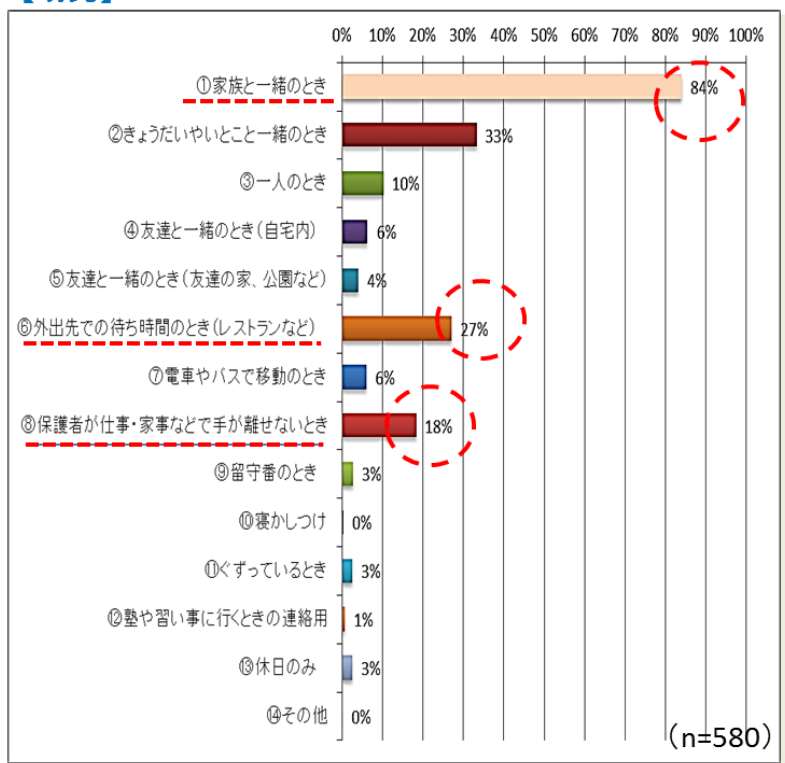
【小学生】



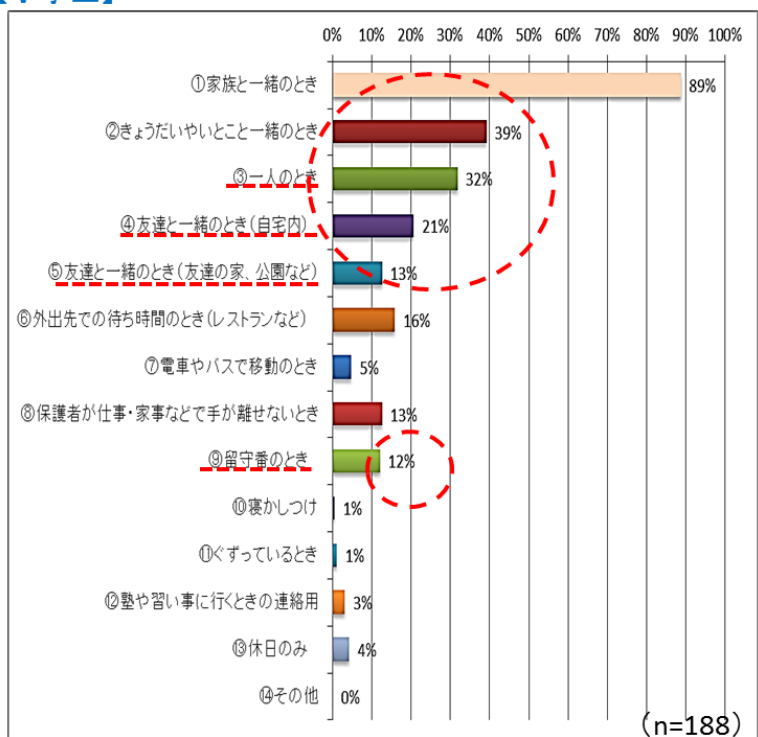
図表2-2-7は子どもがインターネットを使う状況を示している。小学生になると③一人のとき、④⑤友達と一緒にのとき、⑨留守番のときが増えている。一方幼児で多かった⑥外出時の待ち時間、⑧保護者が手が離せないときが減っており、使い方／使わせ方に変化があらわれている。

図表2-2-7. お子様はどのような状況でインターネットを使っていますか。(いくつでも)

【幼児】



【小学生】

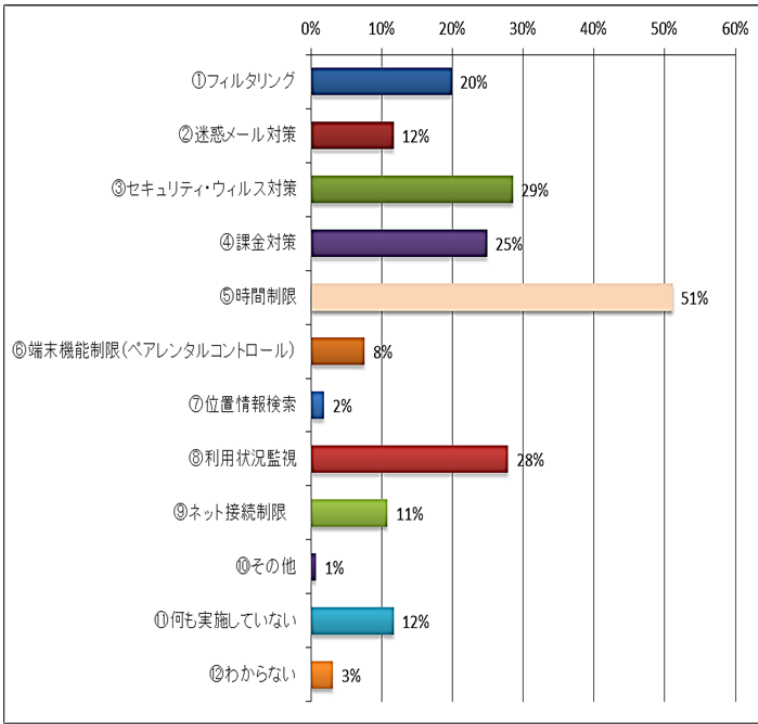


図表2-2-8より、子どもがインターネットを使ううえでの安心・安全対策については幼児から小学校になり使い方／使わせ方が変化するに伴い、安心・安全対策の実施状況にも変化があらわれている。

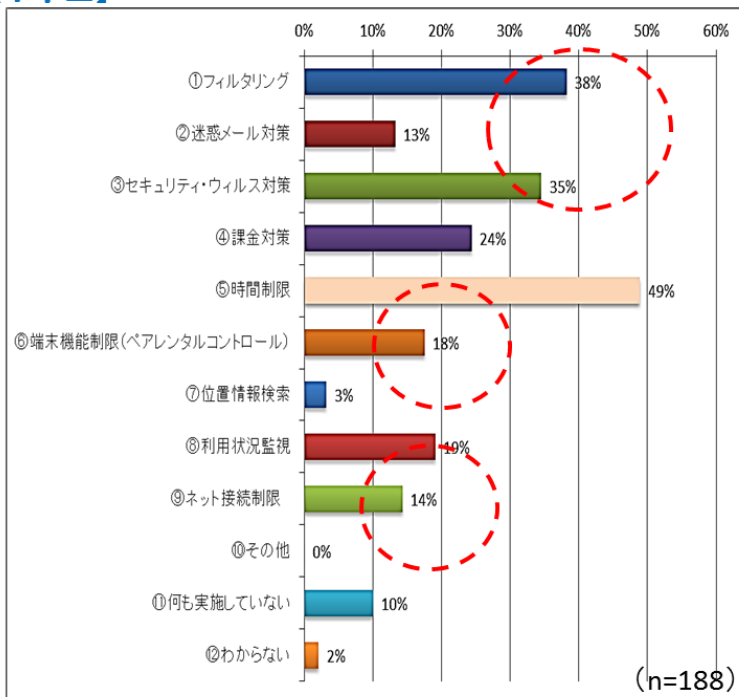
(①フィルタリング、③セキュリティ対策、⑥ペアレンタルコントロール、⑨ネット接続制限が増えている傾向)

図表2-2-8. お子様インターネットを使ううえでの安心・安全対策の実施状況について教えてください(複数回答) ※ネット利用機種別ではなく全体の傾向

【幼児】

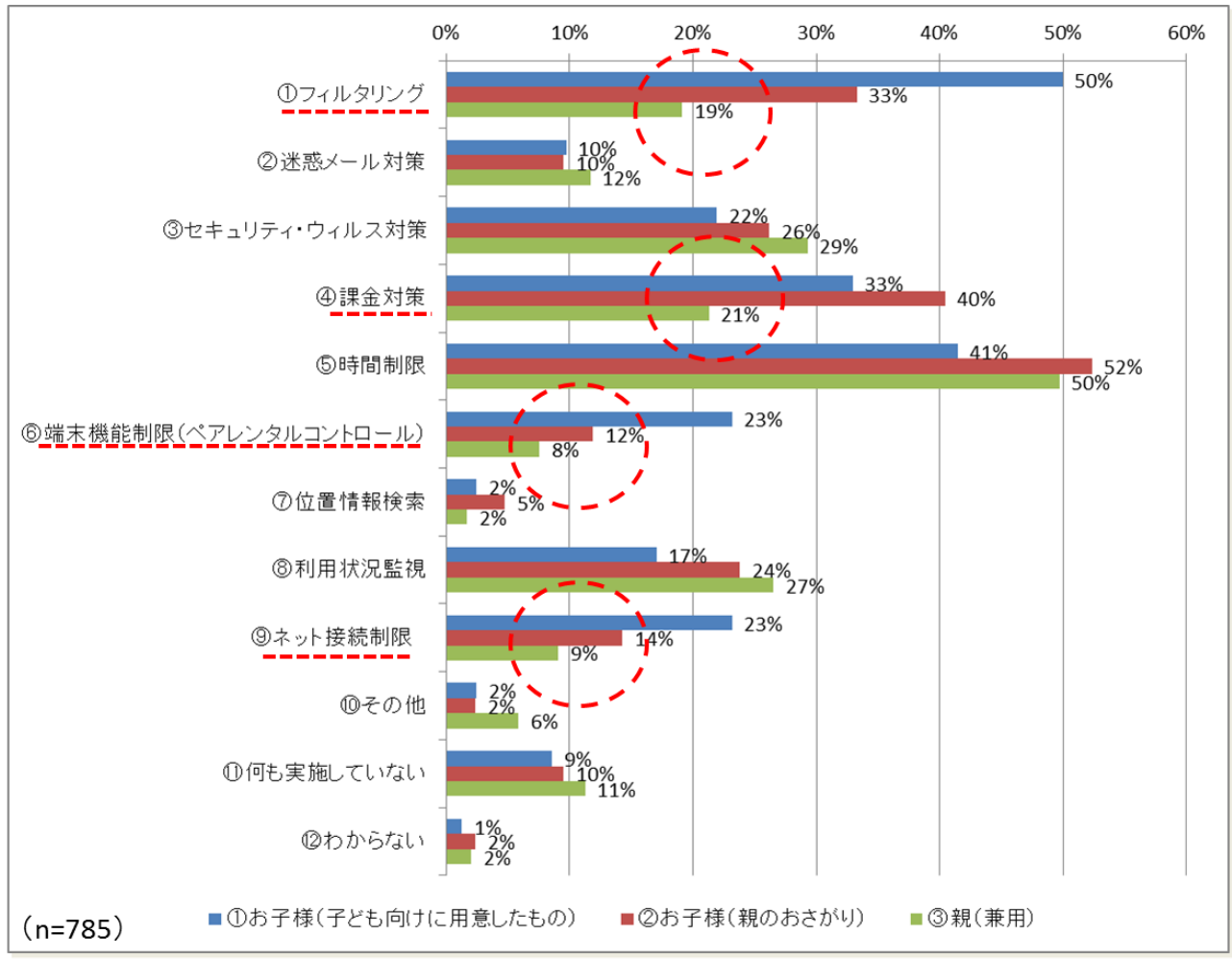


【小学生】



図表2-2-9は子どもが利用する機器の所有区分と安心安全対策の関係を示している。
 親と兼用端末のフィルタリング設定率、端末機能制限、課金対策、接続制限対策は低い傾向にある。
 これは保護者自身の安心安全に対する意識が低い場合や機器・アプリに対する対策方法の知識不足も想定されるため、今後の啓発活動の指針となりうるデータと言える。

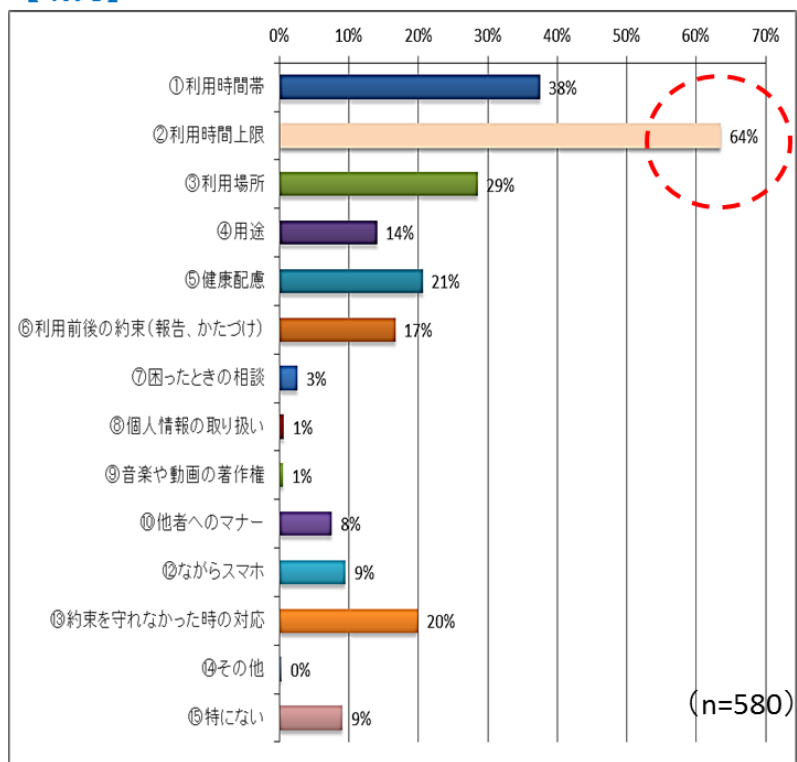
図表2-2-9. 子どもが利用する機器の所有区分と安心安全対策の関係



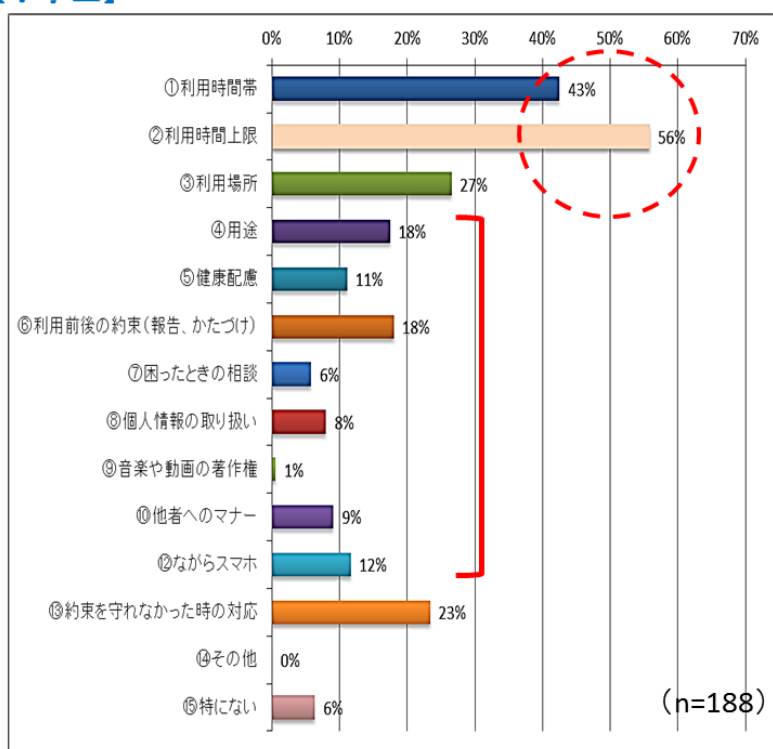
図表2-2-10は子どものインターネット利用について定めているルールを示しており、時間制限・時間帯・利用場所・健康配慮についてが多い。利用内容や利用状況の変化により必要になると想定される④用途や⑦相談先⑩マナーなどのルールについてはまだ少ない傾向がある。

図表2-2-10. お子様のインターネット利用についてどのようなルールを定めていますか。(複数回答)

【幼児】



【小学生】



図表2-2-11は保護者が子どもにインターネットを利用させるうえで不安に思っていることを示している。

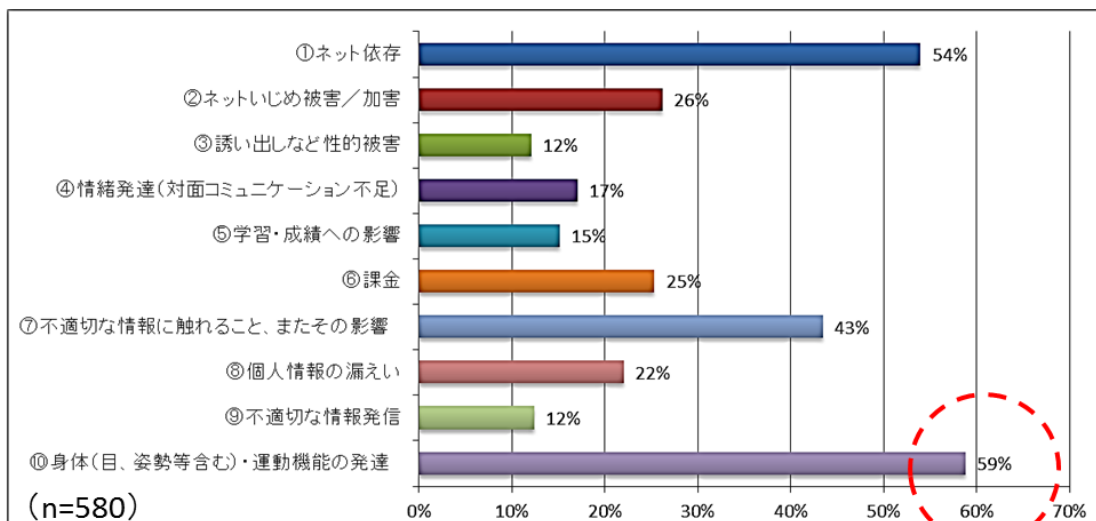
- ー 幼児の保護者は⑩身体・発達への影響への不安が高い(59%)傾向
- ー 小学生になると⑤学習・成績への影響が高くなる(幼児 15%→小学生 35%)傾向

これら不安項目には図表2-2-8の安心・安全対策や図表2-2-10の利用ルール of 取り決めにより軽減・解消できるもの、保護者の見守りや教えが予防・対策につながるものがあるため、保護者の要望に沿った啓発テーマ策定の指針となりうるデータと言える。

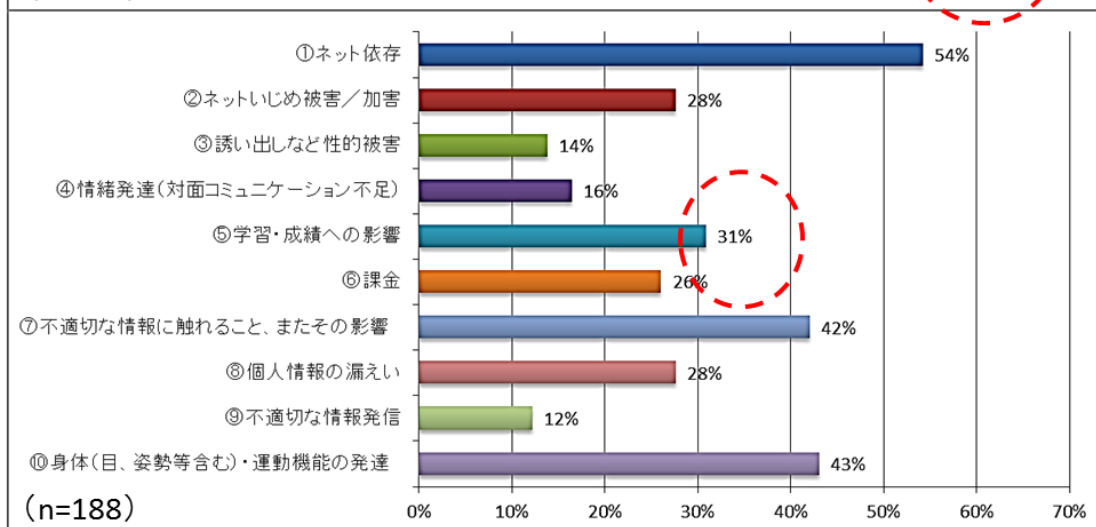
図表2-2-11. お子様 to インターネットを利用させるうえで不安に思っていることがありましたら教えてください。

(複数回答)

【幼児】



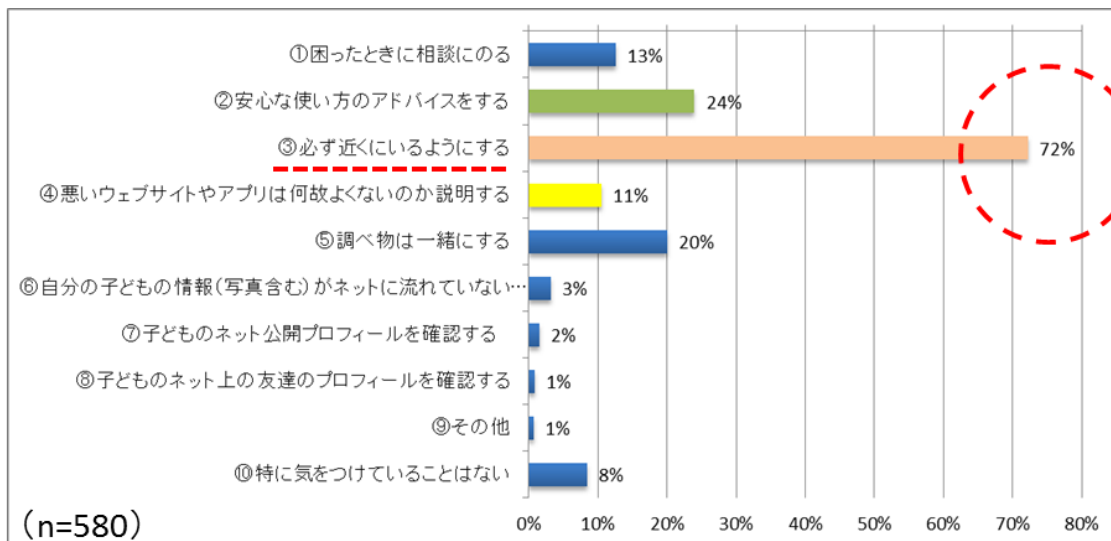
【小学生】



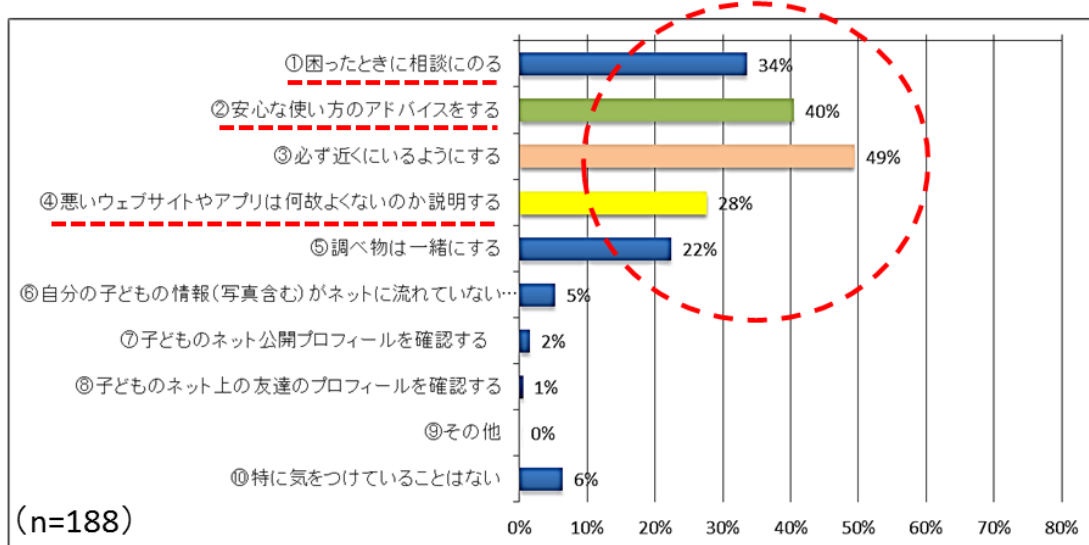
図表2-2-12より、保護者が子どもにインターネットを利用させるうえで気をつけていることは幼児の頃は「必ず近くにいる」が多く(72%)、小学校になると「困ったときの相談」(34%)、「安心な使い方のアドバイスをする」(40%)、「悪いサイトやアプリは何故よくないのか説明する」(28%)のように利用内容、状況に合わせた項目が増える傾向にある。

図表2-2-12. お子様インターネットを使ううえで気をつけていることを教えてください。(複数回答)

【幼児】



【小学生】



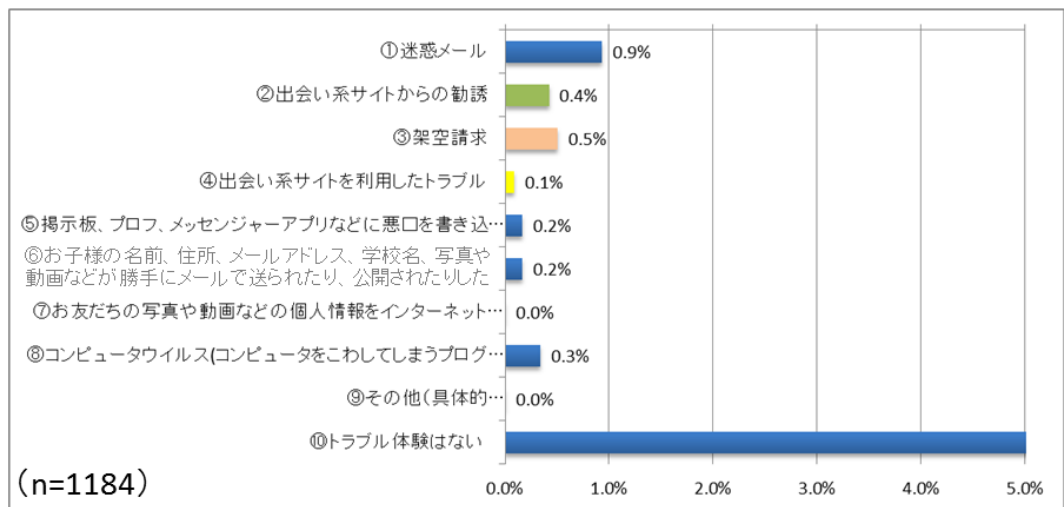
今回のアンケート項目のうち、「お子様がインターネットを使っていてトラブルを経験したことがありますか。」の問いに対してトラブル経験があるとの回答は2%(24名)であった。

トラブルへの対応方法としては親子で話し合うが半数と一番多かったほか、トラブルの内容ごとに以下の対応を行っており(自由記述より)、いずれも適切な対応がとられていると想定される。

- ・迷惑メール →設定でブロック
- ・出会いサイト勧誘 →何もしない(無視)
- ・架空請求 →消費者相談機関
- ・悪口、個人情報の公開 →当事者話し合い
- ・コンピュータウイルス →販売店相談、対策ソフト導入

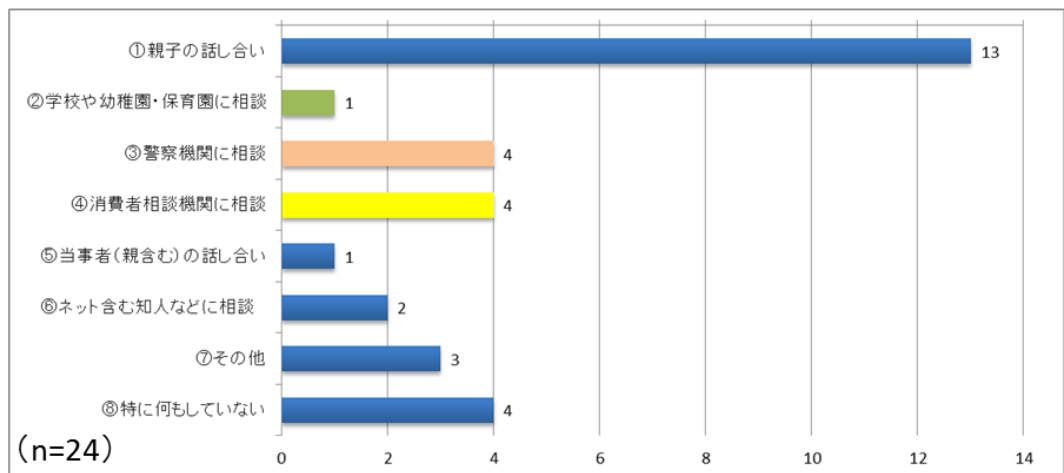
図表2-2-13. お子様がインターネットを使っていてトラブルを経験したことがありますか。(複数回答)

経験



対応方法

(単位:人)



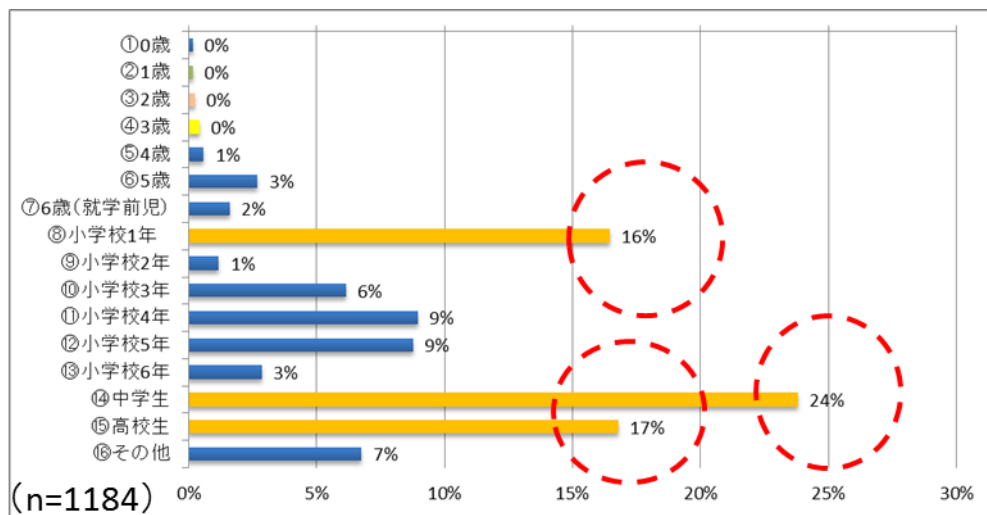
2-3. 子どものインターネット利用について、保護者の意識

図表2-3-1は保護者が考える子どもにインターネットを使わせる適切な時期を示している。

(学習目的での利用、電話機能のみの利用は除く)

中学生からが1番多く(24%)、次いで高校生(17%)となっており進学タイミングを1つの時期とみている傾向がある。小学校1年(16%)も多いが、専用のネットに接続できる機器を与える時期という質問にした場合は違う傾向になると想定される。

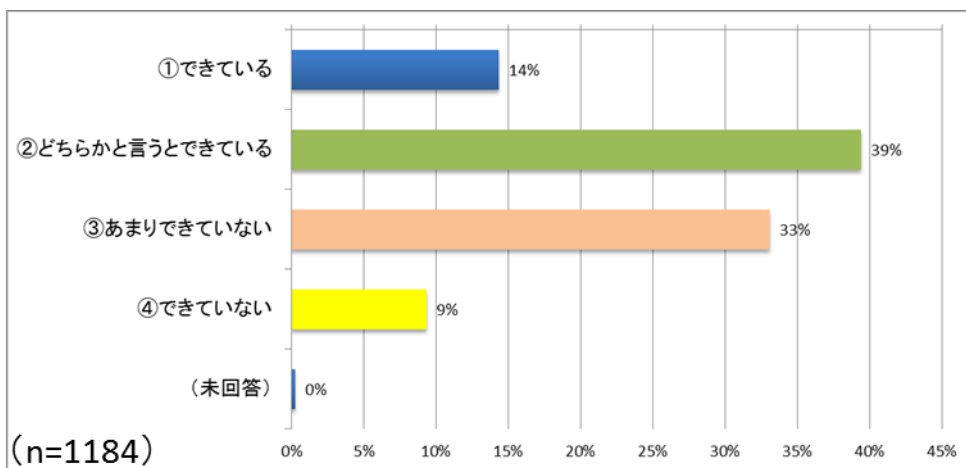
図表2-3-1. ご家庭において、どの時期からお子様インターネットを使わせるのが適切だと思いますか。



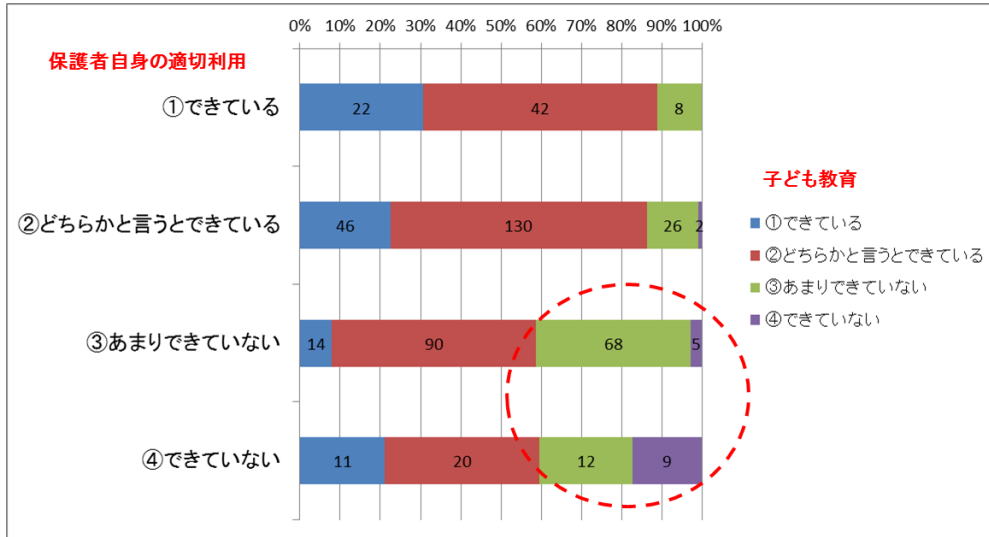
図表2-3-2より、「保護者はお子様のインターネット利用についての教育を適切にできていると思いますか」という問いに対しては42%が「あまりできていない」「できていない」という回答であった。

図表2-3-3は「保護者自身が利用時間や使い方(ルール・マナー)などインターネットを適切に利用できているか」という問いと、「子どもへのネット利用教育の自信」の関係を示したものであるが(子どものネット利用有無にかかわらず回答)、保護者自身が適切利用に自信がない場合、子どもへの教育もあまりできていない / できていないが多い傾向にある。

図表2-3-2. ご自身のお子様のインターネット利用についての教育は適切にできていると思いますか。

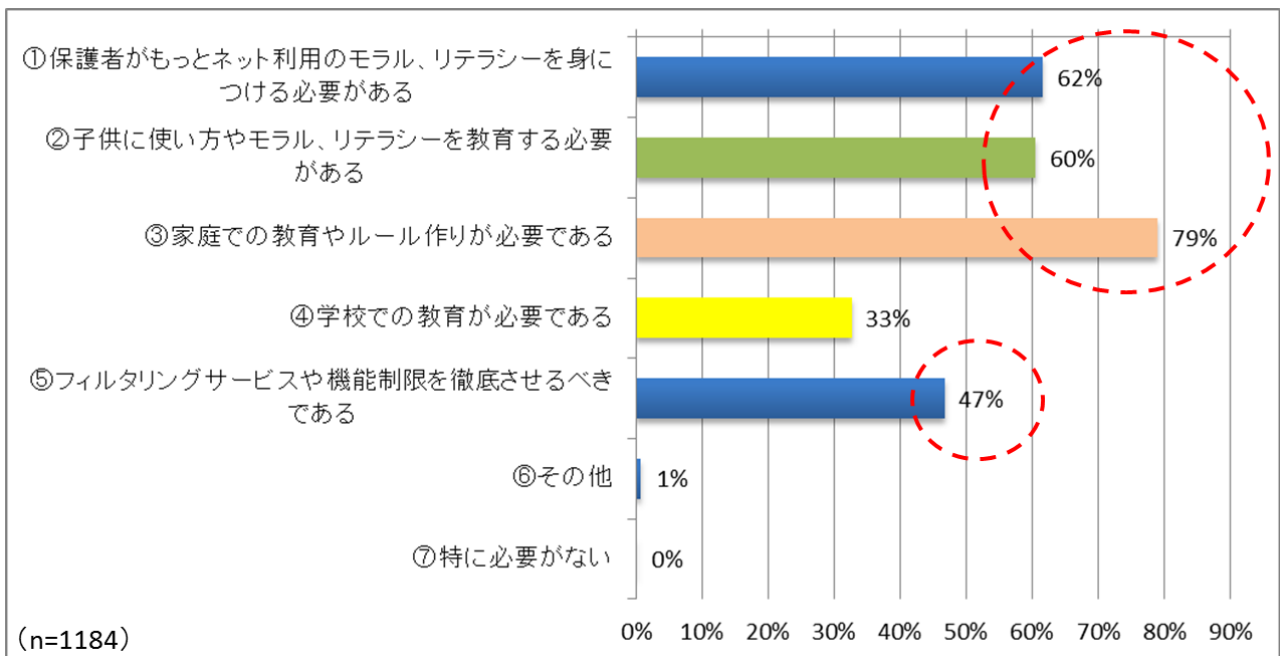


図表2-3-3. 保護者自身のネット適切利用と子どもへのネット利用教育自信の関係



図表2-3-4より、保護者が考える子どもがインターネットを安心・安全に利用する上で必要と思われることは「家庭での教育やルール作り」が一番多く(79%)、そのために保護者がネット利用のモラル、リテラシーを身につけ(62%)、それをしっかりと子どもに教育すること(60%)の回答が多かった。(幼児と小学校保護者に顕著な差はなし)

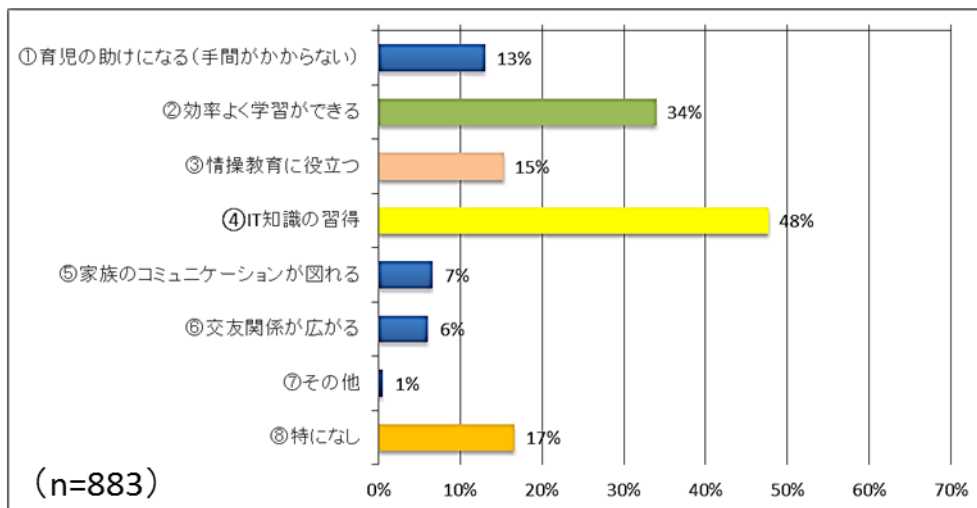
図表2-3-4. お子様インターネットを安心・安全に利用する上で必要と思われることを教えてください。(複数回答)



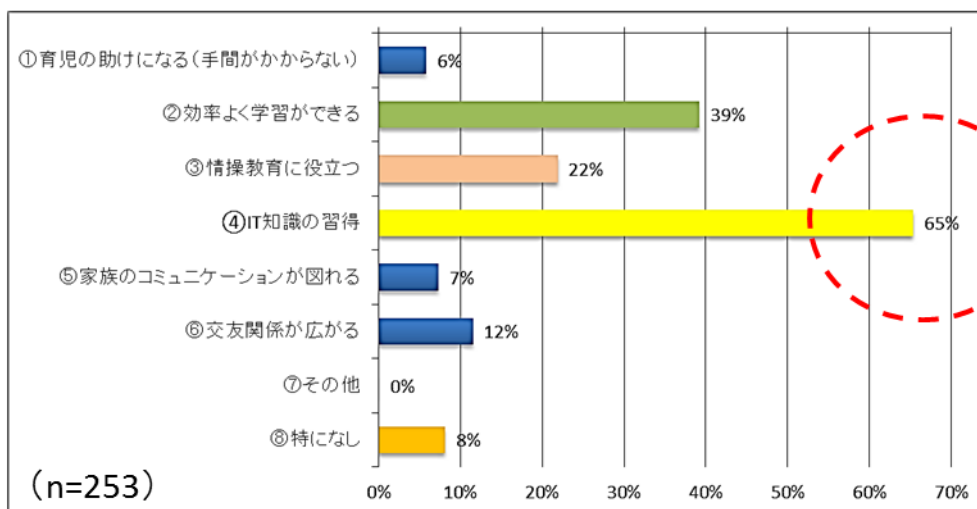
図表2-3-4より、子どもがインターネットを利用することによるメリットについては「IT 知識の習得」が多く(幼児 48%、小学校 65%)、幼児から小学校になると学習・知識の習得に加え交友関係の拡がりにメリットがあると感じている保護者が増える傾向にある。

図表2-3-4. お子様インターネットを利用することでどのようなメリットがあると思われますか。(複数回答)

【幼児保護者】



【小学校保護者】

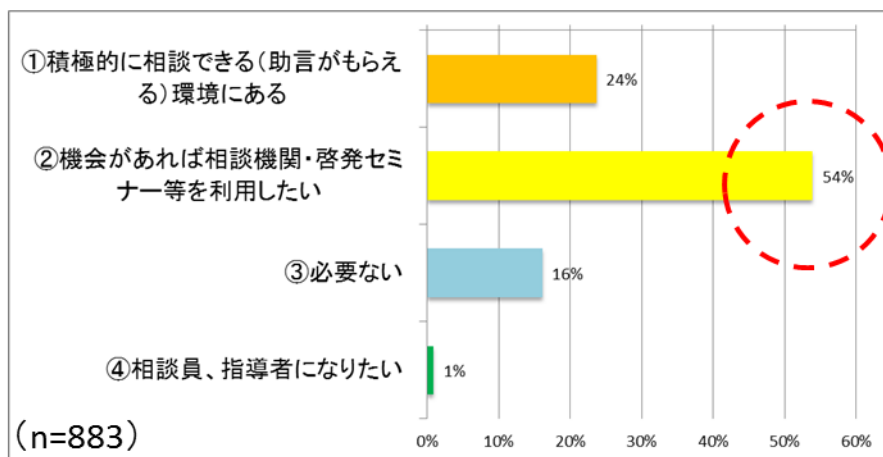


図表2-3-5より、子どもがインターネットを利用するうえでの相談、助言、啓発などについては半数を超える保護者が「機会があれば相談機関・啓発セミナーを利用したい」との回答であった。

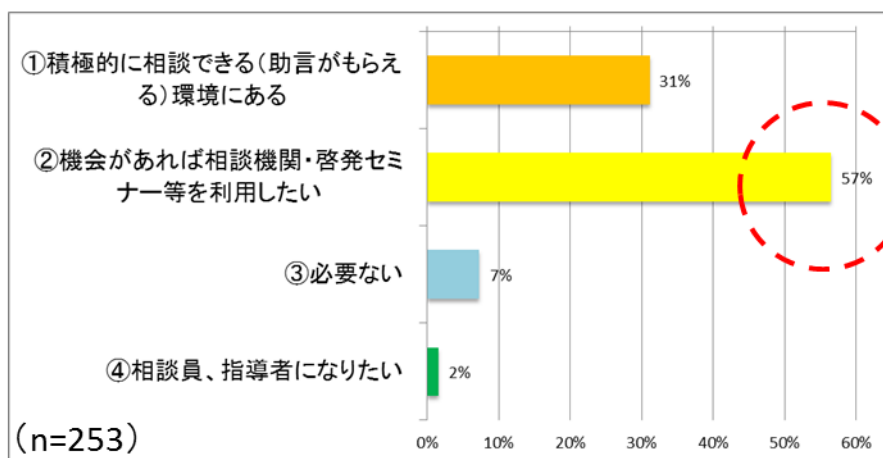
図表2-3-6、図表2-3-7より、「子どもがインターネットを使ううえでの不安事項」と「相談したい・教わりたい人」との関係を見ると、機会があれば外部専門家に相談したい、教わりたいニーズが多い傾向にある。

図表2-3-5. お子様インターネットを利用するうえでの相談、助言、啓発などについてどのようにお考えですか。

【幼児保護者】

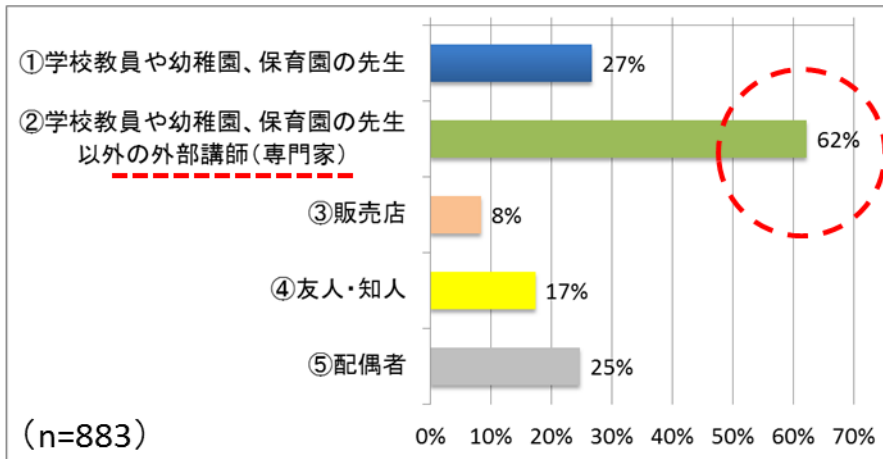


【小学校保護者】

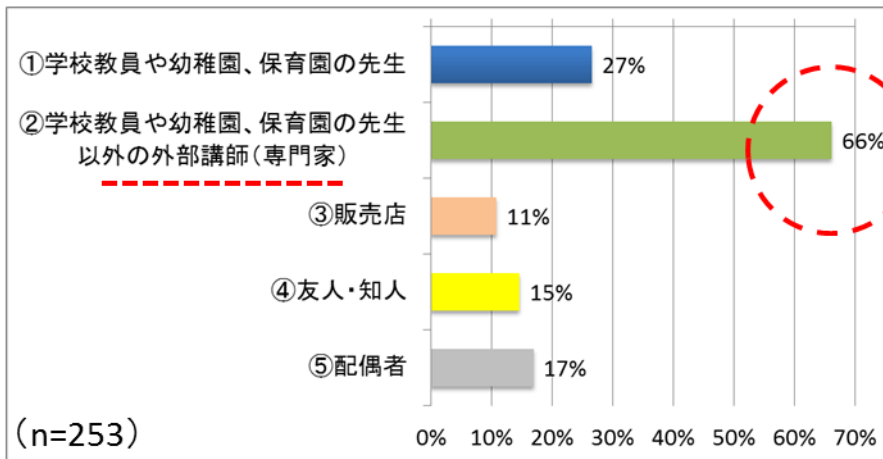


図表2-3-6. お子様のインターネットを利用について誰に相談・教わりたいですか。(いくつでも)

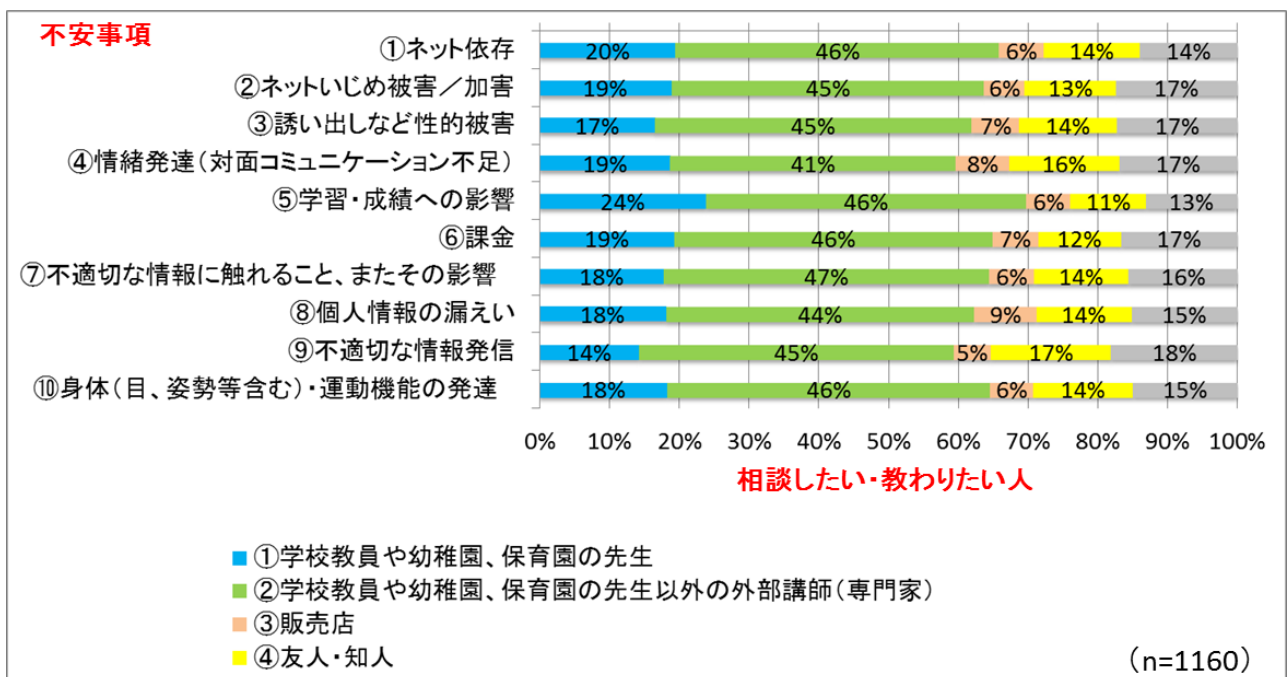
【幼児保護者】



【小学校保護者】



図表2-3-7. お子様のインターネットを利用について誰に相談・教わりたいですか。(いくつでも)



3. 活動総括

本年度は安心ネットづくり促進協議会関係者の「青少年インターネット健全利用」への啓発意欲とPTA(日本PTA 全国協議会・全国国公立幼稚園・こども園 PTA 連絡協議会)等の多大な協力によって、約1千2百人規模のアンケート実施から分析までのとりまとめにつなげることが出来た。

これまで低年齢層とその保護者の利用実態、意識調査については小学生以上のターゲット、小規模調査が多かったことから、今回一定量の調査を行い統計情報としての提供をし、普及啓発活動への提言(きっかけ)ができることは一定の成果と言える。

3-1. 啓発活動への連携

本報告書「2. 調査結果」からの考察、啓発活動への提言は以下の通り。

◆外部専門家による研修機会の提供

低年齢層の保護者がインターネットを安心安全に使うためのモラル・ルール・対策を学んだ機会については「学んだことはない」(22%)もまだ多く、「学外の研修会等で学んだ」も(13%)と少ない数字になっている。相談、助言については「外部講師(専門家)」(63%)への要望が大きな傾向にある。保護者が多く集う場(学内の保護者会や外部の親子イベント等)で出張授業を行ったり、外部専門家による研修のご案内を情報提供すると保護者にとって有用と考えられる。幼稚園・保育園のサイトの利用も多い(34%)ため、よく見るサイト上に当該情報や申し込みリンクを掲載することも有効と想定される。

◆親子兼用端末への安心安全対策

親と兼用端末のフィルタリング設定率は低い(19%)傾向にある。同様に端末機能制限、課金対策、接続制限対策も兼用の場合は低い傾向にある。一方子どもにインターネットを利用させるうえで不安に思っていることには「不適切な情報に触れること、またその影響」(44%)、「ネットいじめ被害/加害」(27%)、「課金」(26%)がある。以上のことから、端末への安心安全対策を保護者と兼用で使っている(保護者が設定操作を管理できる)うちから、保護者自身ができるように機器・アプリに対する具体的対処を伝える解決方法伝授型やベストプラクティスの紹介が有効になると考えられる。またこの場合に子ども用の設定と保護者用の設定切り替えをスムーズに行うためのしくみづくりのために今一度、青少年保護バイ・デザインを考えることも有効と想定される。

◆利用用途、状況に応じた適切な対策

幼児から小学生になるとメールや SNS、メッセージ等、相手のあるツール・サービスの利用や検索を通じた外部のサイトへのアクセスの比率が増えてくる傾向がある。利用シーンとしても「一人の時」、「友達と一緒に」、「留守番の時」等、親の目の届かないところでの利用が増えてくる。上記利用用途や利用シーンの変化に準じて「フィルタリング」、「課金対策」、「端末機能制限」、「ネット接続制限」の適切な設定が必要となってくる。また、安心な使いかたのアドバイスとして「個人情報の取り扱い」、「著作権」、「マナー」、「困ったときの相談先」等についてのルール設定も必要となる。

保護者は、時間制限、時間帯への注意だけでなく、「子どもが何を楽しんでいるのか」、その内容や使い方にも意識を向けていく必要があると考えられる。

小学生になる前の準備時期にこれらをテーマとした保護者研修を行う事も有効と想定される。

◆心身発達への不安(目、姿勢、運動機能など)への対応

特に、発達の著しい幼児の保護者では、6割が不安だと回答している。不安であるにも関わらず利用が増加しているため、小児医療分野などの疫学研究を推進し、保護者へ情報提供を実施していくこと、デバイス開発へ反映していくことが必要と考えられる。

4. 今後の活動方針

今後の検討課題は「この活動における調査分析結果をより多くの対象に対して、どのように啓発活動につなげていくのか」であり、来期の活動においても、啓発に資する調査内容を検討していく必要がある。

そのためにはアンケート項目や手法もその後のクロス集計(アウトプット)から再設計する必要がある。

また、啓発への具体的な適用(低年齢の保護者向けの研修会、イベント、教材配布時に取り上げるテーマやインターネット環境の変化に伴う、時事トピック・傾向の提供等)の効果を図るための KPI を策定し、効果測定・提言仮説の検証を行うことも必要となる。

今後も青少年が利用するインターネットに接続可能な機器の多様化や環境変化に応じた新たな課題・問題等の発生が想定される。

したがって、安心ネットづくり促進協議会として、時事的な課題等に対して現状把握や対策の検討を遂行し、継続的な普及啓発活動と連携した取り組みを進めていくこととする。

以上

▼お子様のインターネット利用についてお聞きします。

保護者の方がお子様のインターネット利用状況等についてお答えください。

(お子様1名につき、1回答でお願いします)

□のあてはまる内容に、チェックマーク をつけて下さい。

1 2. お子様の年齢について教えてください。

- ①0歳 ②1歳 ③2歳 ④3歳 ⑤4歳 ⑥5歳 ⑦6歳(就学前児) ⑧小学校1年
⑨小学校2年 ⑩小学校3年

1 3. お子様の出生順位について教えてください。

- ①第1子 ②第2子 ③第3子 ④その他()

1 4. お子様の性別を教えてください。

- ①男子 ②女子

1 5. お子様のインターネット利用についてどのような機器を使って/使わせていますか。(いくつでも)

- ①使っていない/使わせていない ②ガラケー ③スマホ ④タブレット ⑤パソコン ⑥ゲーム機
⑦音楽プレイヤー ⑧ネットに接続できるテレビ ⑨その他(具体的に)

※①の場合、質問25へ

1 6. お子様はインターネットをどのくらいの時間使っていますか。

- 平日：平均()分 休日：平均()分 ※数字を記入、または
不定期 ※旅行、公共施設での待ち時間など、稀にしか使わない場合

1 7. お子様はインターネットをいつ頃から使っていますか。

- ①0歳 ②1歳 ③2歳 ④3歳 ⑤4歳 ⑥5歳 ⑦6歳 ⑧小学校1年 ⑨小学校2年
⑩小学校3年

1 8. お子様が現在最も使っているインターネット機器の所有者はどなたですか。(いずれか1つ)

- ①お子様(子ども向けに用意したもの) ②お子様(親のおさがり) ③親(兼用) ④学校・塾
⑤その他(具体的に)

1 9. お子様は現在どのようなアプリケーションやコンテンツを使っていますか。(いくつでも)

- ①メール ②SNS(Facebook・Twitterなど) ③メッセージアプリ(LINEなど) ④検索
⑤ゲーム ⑥音楽 ⑦動画を視聴する ⑧ショッピング ⑨カメラ・ビデオ撮影
⑩撮った写真・動画を観る ⑪知育(ことば、語学、数遊び等) ⑫絵本・児童書・コミック
⑬遊び・ごっこ(職業体験など) ⑭お絵かき ⑮教科の学習コンテンツ
⑯その他(具体的に)

2 0. お子様はどのような状況でインターネットを使っていますか。(いくつでも)

- ①家族と一緒にのとき ②きょうだいやいとこと一緒にのとき ③一人のとき ④友達と一緒にのとき32(自宅内)

2 1. お子様がインターネットを使ううえでの安心・安全対策の実施状況について教えてください。(いくつでも)

- ①フィルタリング ②迷惑メール対策 ③セキュリティ・ウィルス対策 ④課金対策 ⑤時間制限
⑥端末機能制限(ペアレンタルコントロール) ⑦位置情報検索 ⑧利用状況監視 ⑨ネット接続制限
⑩その他(具体的に) ⑪何も実施していない
⑫わからない

2 2. お子様のインターネット利用についてどのようなルールを定めていますか。(いくつでも)

- ①利用時間帯 ②利用時間上限 ③利用場所 ④用途 ⑤健康配慮 ⑥利用前後の約束(報告、かたづけ)
⑦困ったときの相談 ⑧個人情報の取り扱い ⑨音楽や動画の著作権 ⑩他者へのマナー
⑫ながらスマホ ⑬約束を守れなかった時の対応 ⑭その他(具体的に:)
⑮特にない

2 3. お子様にインターネットを利用させるうえで不安に思っていることがありましたら教えてください。(いくつでも)

- ①ネット依存 ②ネットいじめ被害/加害 ③誘い出しなど性的被害 ④情緒発達(対面コミュニケーション不足)
⑤学習・成績への影響 ⑥課金 ⑦不適切な情報に触れること、またその影響
⑧個人情報の漏えい ⑨不適切な情報発信 ⑩身体(目、姿勢等含む)・運動機能の発達
⑪その他(具体的に)

2 4. お子様がインターネットを使ううえで気をつけていることを教えてください。(いくつでも)

- ①困ったときに相談にのる ②安心な使い方のアドバイスをする ③必ず近くにいるようにする
④悪いウェブサイトやアプリは何故よくないのか説明する ⑤調べ物は一緒にする ⑥自分の子どもの情報(写真含む)がネットに流れていないか確認する ⑦子どものネット公開プロフィールを確認する
⑧子どものネット上の友達のプロフィールを確認する ⑨その他(具体的に)
⑩特に気をつけていることはない

2 5. お子様がインターネットを使っていてトラブルを経験したことがありますか。(いくつでも)

- ①迷惑メール ②出会い系サイトからの勧誘 ③架空請求 ④出会い系サイトを利用したトラブル
⑤掲示板、プロフ、メッセージアプリなどに悪口を書き込まれた ⑥お子様の名前、住所、メールアドレス、
学校名、写真や動画などが勝手にメールで送られたり、公開されたりした
⑦お友だちの写真や動画などの個人情報をインターネットに公開してしまった
⑧コンピュータウイルス(コンピュータをこわしてしまうプログラム)の被害
⑨その他(具体的に)
⑩トラブル体験はない

※ない場合は質問27へ

2 6. トラブルにはどのように対策・解決しましたか。(いくつでも)

- ①親子の話し合い ②学校や幼稚園・保育園に相談 ③警察機関に相談 ④消費者相談機関に相談
⑤当事者(親含む)の話し合い ⑥ネット含む知人などに相談
⑦その他(具体的に)
⑧特に何もしていない

▼お子様のインターネット利用についてのご自身のお考えについてお答えください。

□のあてはまる内容に、チェックマーク をつけて下さい。

27. ご家庭において、どの時期からお子様にインターネットを使わせるのが適切だと思いますか。(いずれか1つ)

※学習目的での利用、電話機能のみの利用は除く。

- ①0歳 ②1歳 ③2歳 ④3歳 ⑤4歳 ⑥5歳 ⑦6歳 ⑧小学校1年 ⑨小学校2年
⑩小学校3年 ⑪小学校4年 ⑫小学校5年 ⑬小学校6年 ⑭中学生 ⑮高校生 ⑯その他

28. ご自身のお子様のインターネット利用についての教育は適切にできていると思いますか。(いずれか1つ)

- ①できている ②どちらかと言うとできている ③あまりできていない ④できていない

29. お子様がインターネットを安心・安全に利用する上で必要と思われることを教えてください。(いくつでも)

- ①保護者がもっとネット利用のモラル、リテラシーを身につける必要がある
②子供に使い方やモラル、リテラシーを教育する必要がある ③家庭での教育やルール作りが必要である
④学校での教育が必要である ⑤フィルタリングサービスや機能制限を徹底させるべきである
⑥その他 ⑦特に必要がない

30. お子様がインターネットを利用することでどのようなメリットがあると思われますか。(いくつでも)

- ①育児の助けになる(手間がかからない) ②効率よく学習ができる ③情操教育に役立つ
④IT知識の習得 ⑤家族のコミュニケーションが図れる ⑥交友関係が広がる
⑦その他(具体的に) ⑧特になし

31. お子様がインターネットを利用するうえでの相談、助言、啓発などについてどのようにお考えですか。(いずれか1つ)

- ①積極的に相談できる(助言がもらえる)環境にある ②機会があれば相談機関・啓発セミナー等を利用したい
③必要ない ④相談員、指導者になりたい

32. お子様のインターネットを利用について誰に相談・教わりたいですか。(いくつでも)

- ①学校教員や幼稚園、保育園の先生 ②学校教員や幼稚園、保育園の先生以外の外部講師(専門家)
③販売店 ④友人・知人 ⑤配偶者

33. その他、お子様のインターネット利用について気になることを教えてください。(自由記述)

()

～ ご協力ありがとうございました。～

- 安心ネットづくり促進協議会では、インターネット利用の低年齢化傾向の状況を捉え、低年齢層の子どものネット利用実態、またその保護者のネット利用実態を把握し、効果的な啓発のあり方やそのテーマについての検討を進めています。
- 本アンケートの結果は、安心ネットづくり促進協議会の調査研究や今後の啓発活動に役立てます。
- 回答データは特定の個人が分からない形で集計し調査結果としてまとめます。
- 結果は安心ネットづくり促進協議会のホームページにて公開し(平成28年3月予定)青少年の安心で安全なインターネット利用環境の整備に役立てていただくことを想定しています。